

平成26年度

事業報告書



目 次

事業の総括	1
事業実施概要	
基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう	3
基本目標Ⅱ みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう	7
基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう	10
基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	13
推進基盤の強化	17
常設委員会	18
事業別実施内容	
総務部関連	
会務運営	19
生活福祉資金	21
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	22
民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業	22
民間社会福祉事業従事者共済事業	23
広報誌の発行事業	24
民生委員互助共励事業	24
収益事業	25
心配ごと相談所事業	27
生活困窮者自立相談支援モデル事業	28
福祉人材バンク運営事業	32
施設部関連	
福祉部関連	
ウエルとばた運営事業	35
住民による地域づくり事業	38
1 地域福祉活動計画推進事業	38
2 住民福祉活動促進事業	39
認知症サポーターキャラバン事業	47
介護サービス相談員派遣事業	49
高齢者見守りサポーター派遣事業	53
高齢者地域交流支援通所事業	56
健康マイレージ事業	61
権利擁護・市民後見センター関連	
地域福祉権利擁護事業	67
法人後見事業	72
社会貢献型市民後見人養成事業	74
ボランティア・市民活動センター関連	
ボランティア振興事業	77
1 福祉教育事業	77
2 ボランティアネットワーク事業	78
3 在宅高齢者サービス事業	81
4 地域福祉活動支援事業	83
5 高齢者いきがい活動支援事業	84
6 介護支援ボランティア事業	85
7 市民ふれあいフェスティバル事業	87
8 ボランティア育成・啓発事業	88
社会福祉ボランティア大学校事業	89
北九州シニアネットワークアカデミー関連	
北九州シニアネットワークアカデミー事業	93
1 周望学舎事業	93
2 穴生学舎・穴生ドーム事業	101
3 地域活動情報支援センター	113
全部署共通	
常設委員会	116

事業実施概要

事業の総括

本会は、北九州市地域福祉活動第四次計画「住民ふくしの元気プラン」に基づき、住民一人ひとりが安心して生き生きと暮らすまちづくりを目指し、さまざまな福祉課題の解決に取り組んでいます。

今年度は、既存の事業に加え、生活保護に至る前の生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援する「生活困窮者自立相談支援モデル事業」を北九州市から受託し、相談支援を行いました。

また、「健康マイレージ事業」においては、社協のネットワークを最大限活用することにより、市の目標値である応募者 20,000 人を平成 25 年度に引き続き達成し、平成 26 年度は 24,579 人の応募がありました。住民の生涯を通じた健康づくりの推進に大きく貢献するとともに、小地域福祉活動の活性化にもつなげることができました。

「認知症サポーターキャラバン事業」においては、認知症サポーター養成講座と認知症サポーターステップアップ研修の受講者が前年の 2 倍以上となり、認知症サポーターが累計 55,941 人と大幅に増加しました。市民一人ひとりが、認知症を正しく理解し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めました。

さらに、災害時ボランティアセンターの運営に際しては、スタッフの動きの再確認や問題点の抽出を目的とした「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」を実施し、センターの設置や被災者支援の技術を蓄積することができました。

本会を取り巻く環境は、福祉課題の多様化や緊縮する財政事情など、依然として厳しい状況にありますが、今後も、多くの関係機関・団体と緊密に連携することにより、地域福祉活動の充実強化を図り、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の推進に努めてまいります。

記

北九州市地域福祉活動第四次計画 「基本目標」と「実施項目」

基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

基本目標Ⅱ みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり

基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくらう

- 1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整

- 2 共同募金会との連携
- 3 小地域福祉活動計画の推進

基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究・提言

推進基盤の強化

常設委員会

平成26年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めるためには、地域社会の福祉課題を住民一人ひとりが理解・共有すること、また、課題を抱える当事者とともに、住民がみんなで解決に動き出せる仕組みづくりが必要です。

そのため、様々な手段により福祉の風土の醸成を図るとともに、一人でも多くの住民の関心を高めることができるよう地域の福祉活動に積極的に参加できる人材の育成に努めました。

目標達成のための取り組み

1 広報・啓発の強化

(1) 広報紙・パンフレット・ガイドブック等の発行、活用

- ・ テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 <全部署>
- ・ 市政番組・FMラジオ番組での事業PR <福祉人材バンク>
- ・ 広報紙の発行 <振興課・施設部・活動推進課・研修課・周望・穴生>
(「きたきゅうしゅう市社協だより」：年4回 172,000部)
(「ウエル新聞」：年12回)
(「周望学舎新聞」：年1回、「周望かわら版」：年3回)
(「穴生学舎新聞」：年1回、「穴生かわら版」：年4回)
- ・ 校(地)区社協活動先進事例集の活用 <地域福祉課>
- ・ 小地域福祉活動における個人情報保護の手引きの活用 <地域福祉課>
- ・ 研修パンフレット「やさしさの広がるまちづくり」の発行(4,500部) <研修課>
- ・ ハローワーク、市民センター、各種学校、市内の店舗、JR駅への就職面談会等のチラシ・ポスターの掲示 <福祉人材バンク>
- ・ 新聞や折込広告等の有料広告の活用 <福祉人材バンク・周望・穴生>
(福祉人材バンク：新聞広告等(1,100,200部))
(周望・穴生：新聞広告(2/1朝刊：朝日、読売、毎日))
- ・ 北九州穴生ドームの利用情報の提供 <穴生>
- ・ 年長者研修大学の講座や高齢者ボランティア情報の提供 <周望・穴生>
(市政だよりシニアカレッジ、年長者と孫のつどい、講座等掲載38回)

- ・ 次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ)活動紹介DVDの作成
 <地域福祉課>

(2) 啓発イベント等の実施

- ・ 社会福祉大会(表彰記念式典・記念講演会)の開催 <全部署>
- ・ 各種イベント等での「プチボザウルス」着ぐるみの活用(28回) <振興課>
- ・ 収益事業を通じた広報・啓発事業の取り組み
 <振興課・施設部・地域福祉課>
 (Tシャツ 576枚、エプロン 132枚、ポロシャツ 171枚の販売)
 (まちづくりクッキー販売 393箱)
 (ウェルとばた記念グッズの試行販売(写真台紙))
- ・ 市民ふれあいフェスティバルの開催(参加者 4,648人) <活動推進課>
- ・ 高齢者の生涯学習参加啓発講座の実施(30コース) <周望・穴生>

(3) ホームページによる地域福祉関連情報の発信

- ・ ホームページのタイムリーで効果的な情報更新 <全部署>
 (アクセス数: 91,184件)
- ・ 「ウェルとばた」ホームページを活用した情報発信(随時) <施設部>
- ・ 健康マイレージブログを活用した情報発信(43件) <生活福祉課>
- ・ ホームページによる校(地)区社協活動の紹介(新規作成 31校(地)区)
 <地域福祉課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の周知及び広報
 (年 12回更新) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ ボランティア・市民活動センターホームページの定時更新による情報提供
 <活動推進課>
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー事業の情報発信 <周望・穴生>
 (「穴生学舎つれづれ日記」: 年 69件)

(4) 出前講演活動の実施

- ・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施(76回、参加者 2,855人)
 <全部署>
- ・ ボランティア・市民活動啓発のための受講機会の随時提供 <活動推進課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業、成年後見制度及び法人後見事業の出前講演の実施
 (校(地)区社協等への出前講演: 年 10回、参加者 310人)
 <権利擁護・市民後見センター>
- ・ 健康モデル都市を目指した穴生ドーム職員によるニュースポーツ出前講座
 <穴生>

(5) 各種事業を通じた広報啓発の取り組み

- ・ ウェルとばたにおける映画上映を通じた福祉課題の情報発信 <施設部>
 (1回、141人)

- ・ 視察等の積極的な受け入れによる地域福祉活動拠点機能のPR <施設部>
(8回、91人)
- ・ 年長者研修大学校での短期自主講座の開催(年36講座) <周望・穴生>
- ・ 大学と連携したシニアカレッジを開催 <周望・穴生>
(周望:3回、158人 穴生:2回、102人)

2 福祉教育の推進

(1) 子どもを対象とした福祉教育

①地域住民主導の福祉教育

- ・ 校(地)区社協・学校と連携した次世代地域福祉活動者育成事業(ウェル
クラブ活動等)の効果的推進(24校区、参加児童695人) <地域福祉課>
- ・ 夏休みボランティア体験学習の実施(2コース、2,317人) <活動推進課>
- ・ 世代を超えた伝承活動、世代間ふれあい交流会の実施
(周望:18回、288人 穴生:5回、511人) <周望・穴生>
- ・ 世代間交流として幼稚園・小学校・中学校・福祉施設を対象にニュースポー
ツの体験事業の実施(年1回、7,495人) <穴生>
- ・ 「年長者と孫のつどい」、「シニアと孫の夏休み」での世代間交流、文化伝承
(周望:35人 穴生:32人) <周望・穴生>

②学校等と連携した福祉教育

- ・ 社会福祉協力校指定事業(5校継続指定) <活動推進課>
- ・ 小地域や小・中学校を基盤とした福祉体験・ボランティア学習の支援
(5,388人) <活動推進課>

(2) 市民を対象とした福祉教育

①住民啓発講座等による福祉教育

- ・ 認知症サポーターキャラバン事業の実施 <地域福祉課>
(登録サポーター累計55,941人、登録メイト累計342人)
- ・ 社会福祉施設及び市民センターにおける体験学習の実施 <周望・穴生>
(周望:3回 穴生:2回)

②年長者研修大学校による福祉教育

- ・ 年間コースの共通科目としての福祉教育の充実(年間30コース)
<周望・穴生>
- ・ 校(地)区社協、福祉施設等における現地活動体験
(周望:3回、86人 穴生:2回、54人) <周望・穴生>
- ・ 留学生との交流事業の実施(周望:2回、77人 穴生:4回、106人)
<周望・穴生>

3 地域福祉人材の育成

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- ・ 社会福祉ボランティア大学校における講座等の実施 (8回、26日、1,078人) <研修課>
 - ・ 年長者研修大学校修了生等の地域福祉活動への参加啓発 <周望・穴生>
 - ・ 地域活動情報センターでの地域福祉活動人材育成、コーディネート、活動情報収集・発信、地域活動の支援、研修修了後の活動支援 (年433件) <周望・穴生>
- (2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成
- ・ 校(地)区社協活動者交流会の開催 (1回、26校区から234人参加、ボランティア38人) <地域福祉課>
 - ・ 校(地)区社協単位で実施する新任者、現任者及び役員の育成 (19回、23日、1,754人) <研修課>
 - ・ 地域活動を目指すコース研修生と地域活動者との交流事業の実施 (周望:1回、25人 穴生:1回、22人) <周望・穴生>
 - ・ 学舎ボランティアグループの活動支援 (周望:活動回数804回、活動者数延べ5,287人) <周望・穴生>
(穴生:活動回数1,781回、活動者数延べ8,932人)
- (3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成
- ・ 社会福祉ボランティア大学校における入門者、活動者及びリーダーの育成 (9回、14日、305人) <研修課>
 - ・ 高齢者を人生キャリアのあるエイジレスタレントとして育成し、その活動を支援(講師活用、学舎の施設ボランティア採用) <周望・穴生>
 - ・ シルバーバンク、高齢者ボランティアグループ等の活性化と活動支援 <周望・穴生>
 - ・ パソコン講座の補助ボランティアとしての「パソコンボランティア」の育成 (周望:10人 穴生:17人) <周望・穴生>
 - ・ 健康・体力づくり指導者の研修(年1回66人)及び健康ボランティアの養成(年48回、450人) <周望・穴生>
- (4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成
- ・ 民間社会福祉施設従事者の資質向上を目指した研修会の実施 (職場のメンタルヘルス研修:1回、47人) <振興課・福祉人材バンク>
 - ・ 企業のための社会貢献活動セミナーの実施(1回、1日、18人) <研修課>
- (5) ボランティア・市民活動支援者の育成
- ・ 社会福祉ボランティア大学校における実務者の育成 (1回、2日、47人) <研修課>

基本目標 II みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、それぞれの地域においてあらゆる社会福祉関係者ととともに、幅広い住民が地域の福祉活動へ参加することが必要です。

このため、支援を必要としている人たちのニーズを把握し、支援を必要としている人がその課題解決に向かえるよう、幅広い関係者と支援の輪をつくり、住民の主体的参加による福祉活動に取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 小地域福祉活動の活性化

(1) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化

- 校(地)区社協と福祉関係者(民生委員・児童委員・いのちをつなぐネットワーク担当係長等行政・福祉施設職員等)やNPO・市民活動団体との連携強化・情報の共有

＜地域福祉課・振興課＞

- 実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした課題整理

＜地域福祉課＞

- 次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ)活動紹介DVDの作成【再掲】

＜地域福祉課＞

(2) 校(地)区社会福祉協議会活動メニュー事業Iの実施

＜地域福祉課＞

- 高齢者のサロン事業の推進(99校(地)区)
- 校(地)区社協・学校と連携した次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動等)の効果的推進(24校(地)区、参加児童695人)【再掲】
- 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進
(小地域福祉活動計画策定研修「ふくしプランニング工房」:3回、2校(地)区、延べ32人)

(3) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働

- 校(地)区社協とテーマ型ボランティア・市民活動団体の協働の推進

＜活動推進課＞

- 健康と福祉のまちづくり事業の支援(穴生ドーム早朝開放 12,385人)

＜穴生＞

- 年長者研修大生校修了生の小地域福祉活動への参加促進

＜周望・穴生＞

- 「ふれあいいいききサロン」の実施(年22回、2,136人)

＜穴生＞

- ・ 高齢者による子育て活動への支援 ＜周望・穴生＞
 (子育て支援研修 周望：1件、31人)
 (昔遊びの指導等による世代間交流
周望：27件、275人 穴生：4件、511人)
- ・ 健康づくり活動支援としてニュースポーツ出前講座 (年75回、1,676人)
【再掲】 ＜穴生＞

- (4) 校(地)区社会福祉協議会会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の開催 ＜地域福祉課＞
- ・ 校(地)区社協会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の定期的な開催の支援

2 ボランティア・市民活動の支援

(1) ボランティア・市民活動への支援

- ・ 各種基金助成金等の情報提供、申請協力による活動支援 ＜振興課＞
 (情報提供：23件 申請協力：3件)
- ・ ウェルとばたの管理運営事業を活用して、ボランティア活動の場や市民活動発表の場の提供 (随時) ＜施設部＞
- ・ 施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施 (随時)
＜施設部＞
- ・ 「オープンカフェ」の実施 (1回) ＜施設部＞
- ・ ウェルとばた入居者間のリユース・リサイクル情報提供 (随時)
＜施設部＞
- ・ ボランティア活動保険加入助成 (活動者助成：22,380人) ＜活動推進課＞
- ・ 活動相談・情報提供機能の充実 ＜活動推進課＞
- ・ 福祉教材の貸与 ＜活動推進課＞
- ・ 年長者研修大学校の地域開放事業等の実施 ＜周望・穴生＞
 (周望：1,185人 穴生：8,253人)

(2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築

- ・ 区を横断する市域のボランティア・市民活動団体ネットワーク構築の推進 ＜活動推進課＞
- ・ 中間支援組織間の連絡会の開催 (6回) ＜活動推進課＞
- ・ コーディネーターの連絡機関組織化の推進 ＜活動推進課＞
- ・ 区域におけるボランティア機関・団体との連携 ＜周望・穴生＞
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー機能の活用 ＜周望・穴生＞
- ・ 年長者研修大学校ボランティア指導員の登用 (周望：7人、穴生：5人)
＜周望・穴生＞

3 災害時の福祉救援体制づくり

(1) 災害時の福祉救援体制づくり

- ・ 民生委員・児童委員と連携した福祉救援活動への取り組み推進 <振興課>
- ・ ウェルとばたに一時避難所機能を持たせるための体制づくり <施設部>
- ・ ウェルとばた入居者との災害時支援体制づくり <施設部>
- ・ ウェルとばた入居団体・近隣事業所との戸畑駅前地区防災相互応援協定に基づく総合防災訓練（年2回 6月：145人、12月：135人） <施設部>
- ・ 緊急速報メールを活用した全市民参加型防災訓練に参加 <施設部>
（年1回、9月：128人）
- ・ 校（地）区社協機能を活用した災害時の福祉救援体制づくりの推進
（メニュー事業Ⅱ：29校（地）区） <地域福祉課>
- ・ 災害時福祉救援体制づくり活動事例集の発行（3,000部） <地域福祉課>
- ・ 年長者研修大・学校研修生に対する救急救命講習の実施による防災意識の推進（周望：15回、472人） <周望>
- ・ 防火・防災訓練の実施（周望：1回 穴生：2回） <周望・穴生>
- ・ 災害時の災害ボランティアセンターとの連携及び支援 <周望・穴生>
- ・ 周望学舎の宿泊施設及び穴生ドームを緊急避難場所として活用するための体制づくり <周望・穴生>

(2) 災害時ボランティアセンター設置に向けた体制整備

- ・ 北九州市防災会議への参画 <総務課・活動推進課>
- ・ 社会福祉施設協議会連絡会での協議検討 <振興課>
- ・ 災害時ボランティアグループへの支援 <活動推進課>
（災害関連情報の定期提供）
- ・ 災害ボランティア研修受講者のフォローアップ <活動推進課>
（勉強会：2回、23/22人 設置・運営訓練：2回、51/77人）

(3) 災害への対応

- ・ 災害時のボランティアコーディネーション <活動推進課>

基本目標 Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、 福祉のネットワークをつくろう

市民の価値観や生活様式の多様化によって、地域の福祉課題についても複雑化し、いくつかの課題を同時に抱える場合もあります。

そのため、保健、医療、福祉等の関係機関・団体との連携を強め、総合的に課題の解決に取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整

(1) 民生委員・児童委員との連携

- ・ 民生委員・児童委員と福祉協力員等との地域情報共有化による小地域福祉活動の円滑な連携の推進 ＜振興課・地域福祉課＞
- ・ 市民生委員児童委員協議会事務局の運営 ＜振興課＞
(会議：31回、研修会：5回、大会：1回)
- ・ 市・区民生委員児童委員協議会の相互連携の推進 ＜振興課＞
- ・ 民生委員互助共励事業の実施による民生委員活動の充実と推進 ＜振興課＞
(弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業の実施：2地区民児協)
- ・ 「個人情報保護を正しく理解し共助の力を高めるために！民生委員や福祉協力員等の個人情報の取り扱い」冊子の活用【再掲】 ＜振興課・地域福祉課＞

(2) 専門職等の参加による連絡調整会議の充実

- ・ 地域包括支援センター派遣職員と地域福祉活動者との協力体制づくり ＜総務課＞
(統括・地域包括支援センター：14名、予防給付ケアマネジャー：9名)
- ・ 校(地)区社協連絡調整会議の定例化及び活性化 ＜地域福祉課＞
(全市で延べ1,209回)

(3) 社会福祉関係機関・団体による地域の福祉課題の啓発活動 ＜周望・穴生＞

- ・ 地域活動者との交流授業の実施
(周望：1回、25人 穴生：2回、54人)
- ・ 校(地)区社協及び福祉施設等における現地活動体験
(周望：3回、86人 穴生：2回、52人)

(4) 各施設協議会等との連携

- ・ 社会福祉施設協議会連絡会の開催(年3回) ＜振興課＞

- ・ 大都市社会福祉施設協議会（大阪市）大会への参加 <振興課>
- ・ ウェルとばた入居者とのネットワークづくりの推進（3回） <施設部>

（5）福祉の職場の就労斡旋

- ・ 潜在的有資格者就労支援事業「介護有資格者向け就労支援セミナー」の開催（2回、58人） <福祉人材バンク>
- ・ 「福祉の職場 合同就職面談会 in 北九州」の開催 <福祉人材バンク>
（2回 求人101施設、求人358件1,043人、求職者175人、採用16人）
- ・ 社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓 <福祉人材バンク>
（求人数863件2,384人、採用者数36人）
- ・ 求職登録者への定期的な求人情報の提供（1,264件、1,369人） <福祉人材バンク>
- ・ 求人登録事業者への求職者情報の提供 <福祉人材バンク>
（福祉人材情報システム「COOLシステム」の活用）
- ・ 福祉サービス事業従事者が安全・安心に労働できる職場環境整備の推進
（メンタルヘルス研修：1回、47人）【再掲】 <振興課・福祉人材バンク>
- ・ 福岡労働局、ハローワークとの連携 <福祉人材バンク>
- ・ 年長者研修大学校修了生等の活動拠点の確保 <周望・穴生>

（6）社会福祉施設・団体への支援

- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業の実施 <振興課>
（加入：209施設、4,539人 共済事業担当者会議：1回、47人）
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会の実施 <振興課>
（メンタルヘルス研修：1回、47人）【再掲】
- ・ 各社会福祉施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加 <振興課>
（保育所連盟行事、児童養護施設協議会施設長会等への参加）
- ・ 民間社会福祉施設整備資金等貸付事業の実施（4件） <振興課>
- ・ 寄付行為に伴う寄贈施設の斡旋（8団体） <振興課>
- ・ 社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施（年1回、10人） <権利擁護・市民後見センター>
（他団体等からの視察の受入：年8回、視察者15人）
- ・ 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>

2 共同募金会との連携

- （1）共同募金会各区支会連絡協議会業務の活性化 <振興課>
 - ・ 福岡県共同募金配分委員会への参画
 - ・ 福岡県共同募金推進委員会への参画

- (2) 共同募金の広報活動推進強化 <振興課>
- ・ 共同募金運動物品販売への協力
 - ・ ウェルとばたを活用した積極的な募金活動の実施
 - ・ 歳末たすけあい募金運動への協力

- (3) 歳末たすけあい募金の地域支援事業への転換 <振興課>
- ・ 各区社協及び校(地)区社協での地域歳末支援事業の実施

3 小地域福祉活動計画の推進

- (1) 校(地)区単位の小地域活動計画づくりの推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進
 - ・ 小地域福祉活動計画策定の手引きの活用
 - ・ 小地域福祉活動計画策定研修（ふくしプランニング工房）の開催

基本目標 IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域の中で生き生きと自立した生活ができるよう、住民と関係機関・団体との連携のもとで、プライバシーに配慮しながら、支援を必要としている人に対する活動を行っています。

また、住民の日常生活上のニーズを把握し、住民の生活感覚に沿った提言を行い、新しい活動の仕組みづくりに取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 権利の擁護と相談体制の充実

- (1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実 ＜権利擁護・市民後見センター＞
- (平成 26 年度末 地域福祉権利擁護事業 実契約者数 289 人)
 - (平成 26 年度末 法人後見事業 成年後見人等受任数 51 人)
 - ・ 出前講演等による事業の周知【再掲】
 - (校(地)区社協等への出前講演：年 10 回、参加者 310 人)【再掲】
 - (他団体等からの視察の受入：年 8 回、視察者 15 人)【再掲】
 - (他都市が開催する研修会等への講師派遣：年 3 回、参加者 800 人)
 - ・ 成年後見センター「みと」と連携した総合相談機能の強化 (相談 684 件)
 - ・ 地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応
 - ・ 関係団体との連携による効果的かつ効率的なサービスの実施 (行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等)
 - (金銭管理サービス総回数 5,025 回、生活支援サービス総回数 8,011 回)
 - ・ 専門機関との連携による法人後見事業の円滑な遂行 (家庭裁判所、成年後見センター「みと」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等)
 - (法人後見事業活動総回数 1,338 回)
 - ・ 職員のスキルアップと専門知識の習得
 - (支援員、支援員研修会の実施 年 2 回、128 人)
 - (ブロック会議の実施 年 1 回、47 人)
 - ・ 地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援
 - (法人後見事業移行件数 9 件)
 - ・ 市民後見人養成研修の実施と市民後見人として個人で選任される仕組みづくりの検討
 - (基礎研修 5 日間、述べ 52 人)
 - (市民後見人の個人受任に向けた検討会 年 9 回)

- (2) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介
- ・ 各区社協における心配ごと相談所の運営 ＜振興課＞
(相談件数 830 件〈内訳：解決 277 件、他機関紹介 384 件、その他 169 件〉)
 - ・ 心配ごと相談員研修会の開催 (1 回、136 人) ＜振興課＞
 - ・ 生活福祉資金相談コーナーでの相談受付 ＜振興課＞
(窓口等相談件数：3,143 件、教育支援資金制度説明会開催：2 回)
 - ・ 小地域福祉活動を活用した見守り対象者への情報提供 ＜地域福祉課＞
(26,686 世帯、221,152 回)
 - ・ 地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申立ての支援 ＜権利擁護・市民後見センター＞
(生活支援サービス総回数 8,011 回)【再掲】
- (3) 社会福祉施設と連携した相談体制の充実
- ・ 介護サービス相談員派遣事業の実施 (130 事業所、延べ 1,776 回派遣) ＜地域福祉課＞
 - ・ 社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施 (年 1 回、30 人) ＜権利擁護・市民後見センター＞
(他団体等からの視察の受入：年 8 回、視察者 15 人)【再掲】
 - ・ 地域福祉権利擁護事業利用者、法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 ＜権利擁護・市民後見センター＞
【再掲】
 - ・ 求人、求職に対する相談と情報把握の充実 ＜福祉人材バンク＞
(求人相談：3,848 件 求職相談：1,160 件)
 - ・ 年長者研修大学校による権利擁護事業の理解の促進と福祉サービス等情報の提供 (周望：28 回、904 人 穴生：16 回、449 人) ＜周望・穴生＞

2 社会参加・自立の支援

- (1) サロン事業の推進 ＜地域福祉課＞
- ・ 高齢者のサロン事業の推進【再掲】
 - ・ 校(地)区社協がすすめるサロン活動の手引きの活用
 - ・ 社協のすすめるサロン活動セミナーの開催 (1 回、225 人)
- (2) 高齢者・障害のある人、母子・父子家庭等への支援 (生きがい・健康づくり等)
- ・ 高齢者見守りサポーター派遣事業の実施 (延べ 385 回派遣) ＜地域福祉課＞
 - ・ 高齢者地域交流支援通所事業(地域交流型デイサービス)の実施 ＜生活福祉課＞
(市民センター50 箇所、週 2 回 実施日数 4,649 日、延べ 52,262 人利用)
 - ・ 健康マイレージ事業の推進 ＜生活福祉課＞
(事業登録件数 6,317 件、事業説明件数 1,616 回、応募者数 24,579 人)
 - ・ 交流プラザで周望学舎・穴生学舎合同修了作品展の実施 ＜施設部＞
 - ・ ウェルとばたの業務を活用した障害者の就労支援 ＜施設部＞

- ・ 障害者優先調達促進法に基づく障害者の作品のイベントなどでの紹介
＜施設部＞
 - ・ 特別支援学校、作業所と協力した福祉市場の開催
＜施設部＞
 - ・ 年長者研修大学校修了生の小地域福祉活動への参加促進【再掲】
＜周望・穴生＞
 - ・ 健康ウォーキングの実施（年 12, 613 人）
＜穴生＞
 - ・ 健康モデル都市を目指した、穴生ドーム職員によるニュースポーツ出前講座
 （年 75 回、1, 676 人）【再掲】
＜穴生＞
 - ・ 地域活動を目指すコースの実施
＜周望・穴生＞
 （周望：3 コース、106 人 穴生：3 コース、75 人）
 - ・ 高齢者の生涯学習に対する意識啓発と受講機会の拡大を図るための大学活用型校外授業の実施
＜周望・穴生＞
 （周望：3 回、158 人 穴生：2 回、102 人）
 - ・ 高齢者の社会参加活動支援のための場の提供（ボランティアグループ、クラブ、同好会、同窓会、夢追塾卒塾生）
＜周望・穴生＞
 （周望：6, 845 人、 穴生：8, 932 人）
 - ・ 高齢者の健康・体力づくり事業
＜穴生＞
 （スポーツ教室：年 2 回、366 人）
 （スポーツ大会：年 5 回、862 人）
 - ・ 高齢者の健康づくりを支援する穴生ドームの早朝開放、ニュースポーツ開放デーの実施（早朝開放 12, 385 人、ニュースポーツ開放 701 人）
＜穴生＞
 - ・ 高齢者の特性に合わせた自主講座の実施（743 人）
＜周望・穴生＞
- (3) 障害福祉サービス事業所等と連携した研修生の研修終了後の活動に向けた支援
- ・ 障害福祉サービス事業所の作成品の学舎大学祭での販売の実施
 （大学祭出店団体：5 団体）
＜穴生＞
- (4) ボランティア活動による在宅高齢者の支援 ＜活動推進課＞
- ・ シルバーひまわりサービス（送迎）事業（4, 894 件）
 - ・ 腕自慢おまかせサービス（66 件）
- (5) ボランティア活動による高齢者の社会参加の支援 ＜活動推進課＞
- ・ 高齢者いきがい活動ステーションによる活動機会の紹介（16, 321 件）
 - ・ 介護支援ボランティア事業の実施
 （受入施設数：235 施設 ボランティア登録数：1, 386 人）
- (6) 生活福祉資金貸付制度の運用 ＜振興課＞
- ・ 生活福祉資金貸付制度の運用による自立の支援
 （531 件、126, 121 千円）

- (7) 生活困窮者自立相談支援モデル事業 (10～3月) <総務課>
- ・ 生活困窮者の自立支援 (相談支援件数: 125件)
 - ・ 従事者研修への参加 (3回、延べ4人)
 - ・ 関係機関・団体とのネットワークづくり (42団体)

3 調査・研究、提言

- (1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催 <地域福祉課>
- ・ 総合企画委員会の開催 (2回)
- (2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言 <地域福祉課>
- ・ ふれあいネットワーク活動中間報告・実績報告による校(地)区社協活動の点検・評価
 - ・ 実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした課題整理【再掲】
- (3) ボランティア・市民活動実態調査
- ・ ボランティア・市民活動団体の意識や活動実態の把握 (791団体) <活動推進課>
 - ・ 高齢者の学習ニーズ、ボランティア活動への関心等の調査 (各学舎年1回) <周望・穴生>
 - ・ 年長者研修大卒終了後の地域活動の動向調査 (各学舎年1回) <周望・穴生>

推進基盤の強化

社会福祉法は、地域福祉の推進役として社会福祉協議会を位置づけています。

校(地)区社会福祉協議会・区社会福祉協議会・市社会福祉協議会は、一体となって「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていくために、各域社協で「組織づくり」「活動拠点の確保」「活動点検」「役割分担」「財政基盤の強化」「人材育成」の視点を持って推進基盤の強化を行い、連携・協働しながら、地域福祉活動を計画的に進めています。

1 校(地)区社会福祉協議会への支援

- ・ 地域福祉活動計画に基づく活動の実践の支援 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区社協役員会・連絡調整会議等の定期的な開催による課題の共有と対応 <地域福祉課>
- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画推進状況の点検評価及び計画の推進 <地域福祉課>
- ・ 実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした課題整理【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区社協活動の手引きや役員研修会等を通じた校(地)区社協機能の周知・理解の促進 <地域福祉課>
- ・ まちづくりクッキー販売等自主財源確保の取り組み支援 <振興課>

2 区社会福祉協議会への支援

- ・ 地域福祉活動計画に基づく活動の実践の支援【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 課長・事務局長合同会議等を活用した小地域福祉活動支援力の向上 <地域福祉課>
- ・ 区における収益事業、賛助会員等の拡充の支援 <振興課>

3 市社会福祉協議会での基盤強化

- ・ 新規事業の策定に向け他都市先進事例の調査研究 <全部署・総務課>
- ・ 外部研修等の活用強化による体系的な人材育成の実施 <総務課>
- ・ 市社協創設 50 周年に向けた記念事業の検討 <総務課>
- ・ 賛助会員増強運動の推進（企業・団体 254 件、個人 346 件） <振興課>
- ・ 収益事業の拡充（駐車場管理） <振興課>
- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進【再掲】 <地域福祉課>

- ・ 課長・事務局長合同会議等を活用した小地域福祉活動支援力の向上【再掲】
＜地域福祉課＞
- ・ 全部署を対象とした、物品購入の一元化と入札による経費削減 ＜施設部＞
- ・ 省エネ・省資源による施設運営 ＜施設部・北九州シニアネットワークアカデミー＞
- ・ 第三期指定管理業務の推進 ＜施設部・北九州シニアネットワークアカデミー＞
 (ウェルとばた、年長者研修大学校、北九州穴生ドーム、夢追塾)
- ・ 研修生の環境リサイクル運動への取り組み ＜周望・穴生＞

常設委員会

市社会福祉協議会が実施する事業を適正に遂行するよう、各種常設委員会にて協議を行っています。

- ・ 表彰審査委員会 (1回) ＜総務課＞
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会 (1回) ＜振興課＞
- ・ 福祉人材バンク運営委員会 (1回) ＜福祉人材バンク＞
- ・ 総合企画委員会 (2回) ＜地域福祉課＞
- ・ ボランティア・市民活動センター運営委員会 (3回) ＜活動推進課・研修課＞
- ・ 権利擁護・市民後見センター監視委員会 (4回) ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ 権利擁護・市民後見センター運用委員会 (9回) ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会 (1回) ＜周望・穴生＞

事業別実施内容

◇会務運営

平成 26 年度から新会計基準に移行し、適正な会計処理を行いました。

財務面においても様々な経費削減を図ることに加え、賛助会員の増強運動や自主財源確保に努め、運営基盤の強化にも努めてまいりました。

また、関係法令に沿った適正な機関運営事務の他、税務及び労務事務についても適正な処理を行いました。

1 理事会開催

回	開催年月日	出席者数 /定数	出席者中の 書面表決	議 題
第 241 回	H26. 5. 27	18/19	4	1 平成 25 年度事業報告について 2 平成 25 年度一般会計収支決算について 3 平成 25 年度特別会計収支決算について 4 評議員の補充選任について
第 242 回	H26. 7. 29	19/19	11	1 評議員の補充選任について
第 243 回	H26. 10. 24	19/19	15	1 評議員の補充選任について
第 244 回	H27. 3. 27	19/19	5	1 平成 26 年度収支補正予算について 2 平成 27 年度事業計画について 3 平成 27 年度収支予算について 4 事務局処務規程等の一部改正について 5 嘱託職員及び臨時職員就業規則及び嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 6 職員給与規程の一部改正について 7 嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 8 経理規程の一部改正について 9 福祉金庫資金貸付規程及び生活改善等資金貸付規程の一部改正について 10 福祉金庫資金貸付規程及び生活改善等資金貸付規程の廃止について 11 民間社会福祉施設整備資金貸付規程の一部改正について 12 評議員の選任について

2 評議員会開催

回	開催年月日	出席者数 /定数	出席者中の 書面表決	議 題
第192回	H26. 4. 22	34/40	31	1 理事の補充選任について
第193回	H26. 5. 27	33/40	11	1 平成 25 年度事業報告について 2 平成 25 年度一般会計収支決算について 3 平成 25 年度特別会計収支決算について
第194回	H26. 7. 29	37/40	30	1 理事の補充選任について
第195回	H27. 3. 27	39/40	17	1 平成 26 年度収支補正予算について 2 平成 27 年度事業計画について 3 平成 27 年度収支予算について 4 理事の選任について 5 監事の選任について

3 監事会

開催年月日	実施監事名	監査の内容
H26. 5. 16	能丸 政孝 太田 康子 中野 正信	1 平成 25 年度事業報告 2 平成 25 年度特別会計収支決算 3 平成 25 年度一般会計収支決算

4 市社協正副会長・区社協会長合同会議

開催年月日	出席者数	議 題
H26. 5. 20	9	1 平成 25 年度事業報告について 2 平成 25 年度一般会計収支決算について 3 平成 25 年度特別会計収支決算について 4 評議員の補充選任について
H27. 3. 17	10	1 平成 26 年度収支補正予算について 2 平成 27 年度事業計画について 3 平成 27 年度収支予算について 4 事務局処務規程等の一部改正について 5 嘱託職員及び臨時職員就業規則及び嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 6 職員給与規程の一部改正について 7 嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 8 経理規程の一部改正について 9 福祉金庫資金貸付規程及び生活改善等資金貸付規程の一部改正について 10 福祉金庫資金貸付規程及び生活改善等資金貸付規程の廃止について 11 民間社会福祉施設整備資金貸付規程の一部改正について 12 評議員の選任について

◇生活福祉資金

低所得世帯や障害のある人・高齢者が同居する世帯に対し、民生委員を通じ必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進を図ることを目的として、各種資金の貸付の相談受付を行いました。

今年度は、生活保護受給者の生活必需品に関する生活福祉資金の取扱いが変更になったことで、福祉資金（日常生活上一時的な経費）の申請件数が大幅に増えました。

1 生活福祉資金貸付状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

資金別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
総合支援資金	生活支援費	10	8	6	8	10	16	13	10	7	13	8	19	128
		2,851	2,636	1,300	2,235	3,065	5,206	3,460	2,342	1,965	3,303	2,295	5,425	36,083
	住宅入居費	1	1		1	1	3	2	1	1	1		4	16
		65	112		132	248	504	284	173	166	218		567	2,469
一時生活再建費		3	4			1	4	3		2	2	2	5	26
		409	552			150	410	258		298	276	130	407	2,890
福祉資金	生業を営む必要経費													0
														0
	技能習得													0
														0
	住宅増改築経費			1					2					3
				2,500					2,719					5,219
	福祉用具購入													0
														0
	障害者自動車購入			1	1			1					1	4
				2,160	1,160		1,925						315	5,560
	療養費													0
														0
	就職、技能習得の支度費													0
														0
年金追納	1	1			1				1			3	7	
	44	45			135				44			815	1,083	
住居の移転、給排水設備				1			1	2			1		5	
				194			209	594			500		1,497	
災害支援													0	
													0	
日常生活上一時的な経費		29	106	6	5	1	2	1		1		1	152	
		2,683	9,850	486	483	69	135	144		123		91	14,064	
緊急小口資金	5	9	6	6	7	6	5	6	2	6	5	12	75	
	474	890	600	600	680	600	500	542	150	600	500	1,025	7,161	
教育支援資金	教育支援費	1			1				4	4	7	24	2	43
		210			234				5,970	3,204	9,612	10,840	1,542	31,612
	就学支度費	3							4	4	6	32	6	55
	386							1,492	1,351	2,103	9,844	1,607	16,783	
不動産担保生活資金													0	
													0	
合計		24	52	120	24	25	31	26	30	21	36	72	53	514
		4,439	6,918	16,410	5,041	4,761	8,714	4,846	13,976	7,178	16,235	24,109	11,794	124,421
臨時特例つなぎ資金		1		2			4	1	2		1	2	4	17
		100		200			400	100	200		100	200	400	1,700

注) 申請(承認)の件数、金額

◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付を行い、今年度は、4件の新規貸付を行いました。

【貸付状況の推移】

年度	件数	貸付金額
平成 22 年度	3 件	40,000,000 円
平成 23 年度	2 件	25,000,000 円
平成 24 年度	3 件	42,000,000 円
平成 25 年度	0 件	0 円
平成 26 年度	4 件	57,000,000 円

◇民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設を対象に、施設職員の賞与等の支給原資として資金の貸付を予定していましたが、新規申込はありませんでした。

なお、平成 7 年度以降、新規の貸付申請はありません。

◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、福祉年金、脱退一時金、遺族一時金の支給等の共済事業と、福利厚生事業として、給付事業、貸付事業のほか、様々なスポーツ観戦、演劇鑑賞、宿泊優待事業等を実施しました。

また、加入者数は、年々増加傾向にあり、多くの方々が利用され、従事者とその家族の福利の充実に努めました。

1 共済加入状況

加入施設・団体	209 施設	加入人員	4,539 人
---------	--------	------	---------

【加入状況の推移】

年度	加入施設・団体	加入人員（人）
平成 22 年度	197	3,991
平成 23 年度	196	4,115
平成 24 年度	200	4,360
平成 25 年度	204	4,506
平成 26 年度	209	4,539

2 福利厚生事業実施状況

(1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金 288 件 2,720,000 円

(2) 貸付事業

厚生貸付、結婚貸付、入学貸付 0 件 0 円

(3) スポーツ観戦事業 (1セット2席)

ソフトバンクホークス公式戦 77 セット (個人負担額 504,350 円、助成金額 335,650 円)

ギラヴァンツ北九州ホームゲーム 18 セット (個人負担額 44,200 円、助成金額 33,800 円)

(4) 演劇鑑賞事業 (5 演目、北九州芸術劇場、1セット2席)

63 セット利用 (個人負担額 587,400 円、助成金額 337,700 円)

(5) 宿泊優待事業 (ハイツ&いこいの村及び九州内旅館 16 施設、1セット2枚)

12 施設、62 セット利用 (個人負担額 682,000 円、助成金額 434,000 円)

(6) 家庭用常備薬斡旋事業

1 回目 (4 月) 申込施設数 67 施設、申込件数 254 件、980,720 円

2 回目 (10 月) 申込施設数 72 施設、申込件数 276 件、1,085,910 円

3 共済事業事務担当者会議・研修会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 8. 6	47 人 ウェルとばた	(講義)「人と人とのいい関係、笑って健康」 (講師) 北九州生涯学習講師 赤松 文雄

◇広報紙の発行事業

社協活動を多くの市民に知らせるとともに、福祉に関する正しい理解を広げるため、市社協だよりを年4回発行しました。

発行にあたっては、魅力的な広報紙にするため特集記事や紙面構成などを工夫し、社協活動についての理解促進と、読者の興味を引くような紙面づくりに努めました。

広報紙名	発行回数	1回あたりの発行部数	年間発行部数
きたきゅうしゅう市社協	年4回	43,000部	172,000部

◇民生委員互助共励事業

全国の民生委員・児童委員が、互助と共励を基盤に民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

1 民生委員互助共励事業給付金支給状況（全社協委託事業）

	公務死亡	公務傷病	一般死亡	配偶者死亡	一般傷病	退任慰労	災害	合計
支給件数	0	0	4	5	26	23	0	58
金額(千円)	0	0	120	75	248	93	0	536

2 指定地区民児協事業

- (1) 指定期間 平成25年度～平成26年度の2年間
- (2) 指定地区 八幡西区：千代地区民生委員児童委員協議会
戸畑区：西戸畑地区民生委員児童委員協議会

◇収益事業

ふれあいネットワーク活動推進事業をはじめとした社協活動の安定的な財源確保のため、様々な収益事業や賛助会員の加入促進に取り組みました。

1 駐車場管理

北九州市から遊休地を借用し、駐車場事業を実施しました。

平成 26 年度末の駐車場数は 24 箇所、契約台数は年間延べ 4,281 台で有効駐車台数 4,884 台に対し、利用率は 87%でした。

年度	収益額（円）	箇所数	延べ契約台数	有効駐車台数	稼働率
平成 22 年度	7,454,072	24	4,166	4,706	88%
平成 23 年度	7,576,534	24	4,184	4,784	87%
平成 24 年度	7,742,490	24	4,234	4,828	87%
平成 25 年度	7,852,572	24	4,325	4,884	88%
平成 26 年度	8,593,978	24	4,281	4,884	87%

2 「まちづくりクッキー」の販売

障害者施設との連携強化及び社協活動の周知を目的に、区社協など関係機関、団体の協力を得て「まちづくりクッキー」を販売しました。

年度	収益額（円）	売上数量（個）
平成 22 年度	85,400	854
平成 23 年度	58,900	589
平成 24 年度	49,300	493
平成 25 年度	44,600	446
平成 26 年度	39,300	393

3 きたきゅうしゅう市社協だよりへの広告掲載

年 4 回発行する広報紙きたきゅうしゅう市社協だよりの紙面を活用して、福祉・保健分野などの事業所や企業・団体の広告を掲載し、収益確保に努めました。

年度	収益額（円）	掲載件数（件）
平成 22 年度	450,000	15
平成 23 年度	450,000	13
平成 24 年度	504,000	14
平成 25 年度	504,000	14
平成 26 年度	518,400	11

4 賛助会員

安定した地域福祉事業推進のための財政基盤強化を目的として、市内企業等を中心に勧誘活動に努めました。

その結果、法人・団体、個人合計で会員数は、90件増加し、幅広いご支援とご協力をいただくことができました。

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
平成22年度	152	6,448,000	48	894,000	200	7,342,000
平成23年度	173	5,890,000	395	1,188,000	568	7,078,000
平成24年度	210	6,050,000	254	917,000	464	6,967,000
平成25年度	202	5,440,000	308	1,158,000	510	6,598,000
平成26年度	254	5,800,000	346	1,181,000	600	6,981,000

※寄付金扱いは除く。

◇心配ごと相談所事業

市民がどんな問題でも気軽に無料で相談できる「よろず相談所」として、各区社会福祉協議会と連携しながら実施しています。

相談には、経験と研修を積んだ民生委員・児童委員などが対応し、様々な問題の解決や関係機関・団体のサービス利用の案内・橋渡しに努めています。

社協と民生委員が協働し、困りごとを抱える地域住民の支援を行う事業としての役割を担っています。

また、近年、相談内容が複雑・多様化しているため、相談員としての資質向上に向けた研修会を実施しました。

1 各区相談所における実施状況及び相談件数

区	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
開催回数	月2回	週1回	週1回	月2回	週1回	週1回	月2回	-
開所日数 (日)	23	49	50	23	46	48	24	263
相談件数 (件)	18	315	153	30	66	203	45	830

※小倉北、小倉南、八幡東区については、電話相談件数を含む。

【実施状況及び相談件数の推移】

年度	相談件数 (件)	相談員数 (人)		
		うち、民生委員	民生委員以外	
平成22年度	1,103	191	166	25
平成23年度	1,136	200	174	26
平成24年度	1,307	193	173	20
平成25年度	1,129	195	171	24
平成26年度	830	188	164	24

2 心配ごと相談員研修

実施日	人員・会場	内 容
H27. 2.28	136人 ウエルとばた	(講義) 「聴く力を高める…違いを認め合い・活か しあうための相談技法」 (講師) 北九州市立大学 地域創生学群・基盤教育センター 教授 中島 俊介

3 心配ごと相談所の広報・啓発

- ・市政だよりへの掲載
- ・各区社協だよりへの掲載
- ・事業広報チラシの作成 (5,000部作成)
- ・ホームページへの掲載

◇生活困窮者自立相談支援モデル事業

生活困窮者自立支援制度が、平成27年4月から全国の自治体で始まるのに先立ち、生活困窮者自立相談支援モデル事業を小倉北区で実施しました。

モデル事業では、地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

1 自立相談支援機関の開設と関係機関とのネットワークに関わる業務

(1) 事業の周知・広報とネットワークづくり

広報用リーフレット、ポスターを作成し関係機関・団体を通じて配付することにより事業の周知に努めました。

また、支援調整会議その他の合議体等を活用して生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

リーフレット配付・ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体（全42団体）

No.	分類	関係機関・団体名
1	市及び小倉北区の 行政関係機関	市保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課
2		母子福祉センター
3		子ども総合センター
4		消費生活センター
5		精神保健福祉センター
6		小倉北区役所保健福祉課
7		小倉北区役所保護課
8		小倉北区役所コミュニティ支援課(市民センター)
9		小倉北区役所市営住宅コーナー
10		小倉北区地域包括支援センター
11	市社協関係	市社協課長・各区社協事務局長会議
12		権利擁護・市民後見センター
13		ボランティア・市民活動センター
14		年長者研修大学校周望学舎
15	小倉北区社協	民生委員児童委員
16		心配ごと相談員
17		校区社会福祉協議会会長
18	その他の関係機関	福岡県社会福祉協議会
19		グリーンコープ生活再建相談室
20		NPO法人抱樸
21		ハローワーク小倉
22		北九州若者サポートステーション

23		若者ワークプラザ北九州
24		子ども・若者応援センターYELL
25	その他の関係機関	障害者基幹相談支援センター
26		障害者しごとサポートセンター
27		障害福祉団体連絡協議会
28		障害福祉ボランティア協会
29		ひきこもり地域支援センターすてっぷ
30		北九州商工会議所
31		NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン
32		NPO法人フォスク
33		法テラス北九州
34		障害福祉サービス事業所
35	医療機関	健和会大手町病院、小倉蒲生病院、新小文字病院
36	民間企業等	不動産中央情報センター、サンキュードラッグ

(2) 職員の研修

国の研修を受講するなど、職員の他法他施策の理解、援助技術の向上に努めました。

研修名	日時	場所	参加人数
自立相談支援事業相談支援員養成研修	9月8日(月) ～10日(水)	全国社会福祉協議会 灘尾ホール	1名
	10月6日(月) ～8日(水)	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	
生活困窮者自立支援全国研究交流大会	11月8日(土) ～9日(日)	関西学院大学	2名
家計相談支援員実践研修	1月22日(木) ～23日(金)	ヒューリック博多ビル	1名

2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

(1) 相談支援業務

「生活困窮者自立促進支援モデル事業実施要領」及び「相談支援モデル事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

相談受付総数と性別、年齢、相談経路

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
相談受付総数		45	15	9	17	16	23	125	
性別	男	22	6	2	6	7	11	54	43.2%
	女	23	9	7	11	9	12	71	56.8%
年齢	～10代	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	20代	1	0	1	1	0	2	5	4.0%
	30代	6	0	1	2	4	4	17	13.6%
	40代	8	3	2	3	4	6	26	20.8%
	50代	10	4	2	6	2	3	27	21.6%
	60～64歳	3	3	1	2	2	1	12	9.6%
	65歳～	17	5	2	3	4	7	38	30.4%
相談経路	本人（来所）	28	7	1	12	7	7	62	49.6%
	本人（電話）	5	1	1	0	4	4	15	12.0%
	家族・知人（来所）	1	0	1	1	2	4	9	7.2%
	家族・知人（電話）	1	0	1	0	0	1	3	2.4%
	関係機関・者紹介	9	7	5	3	3	7	34	27.2%
	その他	1	0	0	1	0	0	2	1.6%

(2) 業務の進捗状況の報告・スクリーニング

行政のいのちをつなぐネットワーク担当係長に、業務の進捗状況や業務内容等を報告し、連携を深めました。

また、支援の継続性について判断するスクリーニングは、毎月2回程度実施しました。

スクリーニングの状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報提供・相談対応のみで終了	6	6	4	6	4	11	37
他制度・他機関等へのつなぎ	19	15	6	8	11	10	69
本人同意、同意に向けて取り組む	0	0	0	0	0	2	2
継続支援し、プラン策定	3	0	1	2	2	0	8
スクリーニング判断前に中断・終了	0	1	2	2	1	0	6
合計	28	22	13	18	18	23	122

(3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則し、作成した支援計画が適切なものであるか等を検討するため実施する支援調整会議に参画しました。

3 成果

(1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活自立や社会生活自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

つないだ主な関係機関・制度

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉・就労支援コーナー（ナビ）	6	2	4	5	2	3	22
若者ワークプラザ	0	0	0	0	0	2	2
家計相談（グリーンコープ）	1	6	1	3	2	1	14
住宅支援給付	4	0	1	0	1	1	7
就労準備支援	0	1	0	0	0	0	1
保護課職員に同席を依頼した件数	10	2	3	5	3	2	25

(2) 生活困窮者支援を通じた地域づくり

生活困窮者の早期把握や見守りのため、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

◇福祉人材バンク運営事業

福祉人材バンクでは、求人事業所と求職者とを結びつけるため、関係機関と連携を図りながら、福祉の仕事に関する相談や無料の職業紹介を実施しています。

平成19年度から実施している就労および雇用の機会を拡大するための、「福祉の職場 合同就職面談会」では、ここ数年、参加施設や求人件数の増加に伴い、求人数は増加しているものの、採用数は減少傾向にあり、マッチングや人材確保の難しさが顕著となっています。

また、介護福祉士やホームヘルパー等の資格を有しながら、介護職に就労していない潜在的な介護有資格者を対象とした「介護有資格者向け就労支援セミナー」を行い、実技を中心に即戦力としての福祉人材の掘り起こしや育成に努めました。

1 求人・求職等取扱状況

求人件数	求人数	求人相談件数*1	求職者数	求職相談件数*1	紹介数	応募数	採用数	採用率*2
863	2,384	3,848	503	1,160	64	62	36	28.6%

*1: 相談件数には、情報提供数を含む。 *2: 採用率=採用数/紹介数と応募数の和。

有効求人件数	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率*3
2,399	6,739	1,747	3.86

*3: 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数

【求人・求職等取扱状況の推移】

年度	求人件数	求人数	求人相談件数*1	求職者数	求職相談件数*1	紹介数	応募数	採用数
平成22年度	663	1,670	1,912	549	4,238	110	203	36
平成23年度	785	2,034	4,348	639	4,397	157	265	81
平成24年度	848	2,348	4,784	693	4,253	114	232	58
平成25年度	741	2,165	5,375	647	4,151	162	194	52
平成26年度	863	2,384	3,848	503	1,160	64	62	36

2 「福祉の職場 合同就職面談会 in 北九州」の開催

実施日	参加者数	会場・内容
H26. 9. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者 107人 ・求人施設等 51法人 ・採用数 10人 	【会場】 ウェルとばた 【内容】 求人事業所と求職者との面談 求職相談・登録 福祉の資格相談
H27. 2. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者 68人 ・求人施設等 50法人 ・採用数 6人 	
計(2回)	求職者175人、求人施設等101施設、採用数16人	

【福祉の職場 合同就職面談会 in 北九州 実績の推移】

年度	参加施設	求人件数	求人数	来場者数	紹介数	採用数
平成 22 年度	83	256	772	291	62	20
平成 23 年度	84	244	678	301	85	31
平成 24 年度	102	326	975	288	73	26
平成 25 年度	100	373	1,151	309	97	19
平成 26 年度	101	358	1,043	175	36	16

3 行政・関係機関との連携

- ・厚生労働省（事業の後援）
- ・中央福祉人材センター（事業支援、システム研修等）
- ・福岡県内福祉人材センター・バンク（事業の共催、県合同就職面談会への職員派遣等）
- ・北九州市（事業の共催・協力：合同就職面談会、介護の職場出前授業等）
- ・高年齢者就業支援センター、シティハローワーク
- ・福岡労働局（事業報告等）
- ・北九州地域ハローワーク（求人情報の提供、面談会の後援と相談員の派遣）

4 労働環境の整備の推進

民間社会福祉事業従事者を対象とした職場のメンタルヘルス研修会の開催

実施日	人員・会場	内 容
H26. 8. 6	47 人 ウェルとばた	（講義）「みんなで仲良く人と人とのいい関係、笑って健康」 （講師）北九州生涯学習講師 赤松 文雄

5 広報・啓発活動

（1）定期的な情報提供

- ・求職者へ求人情報を送付（毎月 1 回）
- ・各団体及び求職者へ各種イベント等の案内を送付

（2）福祉資格等の取得促進支援

- ・福祉資格取得及び研修受講について情報収集し、相談者に提供

（3）求人事業者・求職者の開拓

- ・福岡県内福祉系学校、普通科校、総合大学への案内
- ・北九州市内社会福祉事業者への案内

（4）各種媒体の積極的活用

- ・広報紙への掲載（市政だより、市社協だより）
- ・市社協ホームページへの掲載
- ・福祉人材情報システム「福祉のお仕事」
- ・新聞広告掲載（毎日新聞、読売新聞：788,000 部）
- ・求人情報紙「パコラ」広告掲載（312,200 部）
- ・市政番組（2 月 18 日）や FM ラジオ番組（2 月 13 日）での事業 PR

(5) 印刷発行物

- ・ 合同就職面談会 (チラシ 12,000 部、ポスター800 枚)
- ・ 就労支援セミナー (チラシ 8,000 部、ポスター600 枚)

6 潜在的有資格者就労支援事業「介護有資格者向け就労支援セミナー」の開催

実施日	人員・会場	就職者数	内 容
H26. 7. 1 H26. 7. 2 H26. 7. 3 H26. 7. 8	34 人 ウエルとばた	8 人	【講義：3 日間】 介護保険制度の概要、労働法令の基礎知識、介護技術実技実習、介護現場に求められる人材とは、介護職のやりがい、介護の仕事に携わって、好感度アップの面接マナー等
H26. 10. 29 H26. 10. 30 H26. 10. 31 H26. 11. 10	24 人 ウエルとばた	6 人	【施設見学：1 日間】 1 人 2 ヲ所の介護事業所を見学
計	58 人	14 人	

7 福祉人材バンク運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 6. 26	9 人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none">・ 正副委員長の選任・ 平成 25 年度事業報告・ 平成 26 年度事業計画・ 意見交換

◇ウェルとばた運営事業

第三期指定管理業務の運営1年目にあたり、市民サービスの向上と、ウェルとばたの複合施設としての特徴を最大限に活かし、地域住民・ボランティア、入居団体と協働で、にぎわい創出事業「花火鑑賞会・映画上映会」及び自主事業「初夏のをどり・歌まつり・スペシャルウェルカムコンサート」等を実施し、福祉意識の浸透と地域の活性化及び福祉文化の発信に努めました。

また、事業ごとの広報に関しては、積極的にマスコミとの関係を持つとともに、ホームページやフェイスブックで情報の発信を定期的に行うなど情報量を増やし、FM局のサテライトスタジオの臨時開設など新たな協力体制の強化に取り組みました。

なお、第三期指定管理の提案内容については、指定管理期間で着実に実施できるよう、長期計画を立て確実に実施していきます。

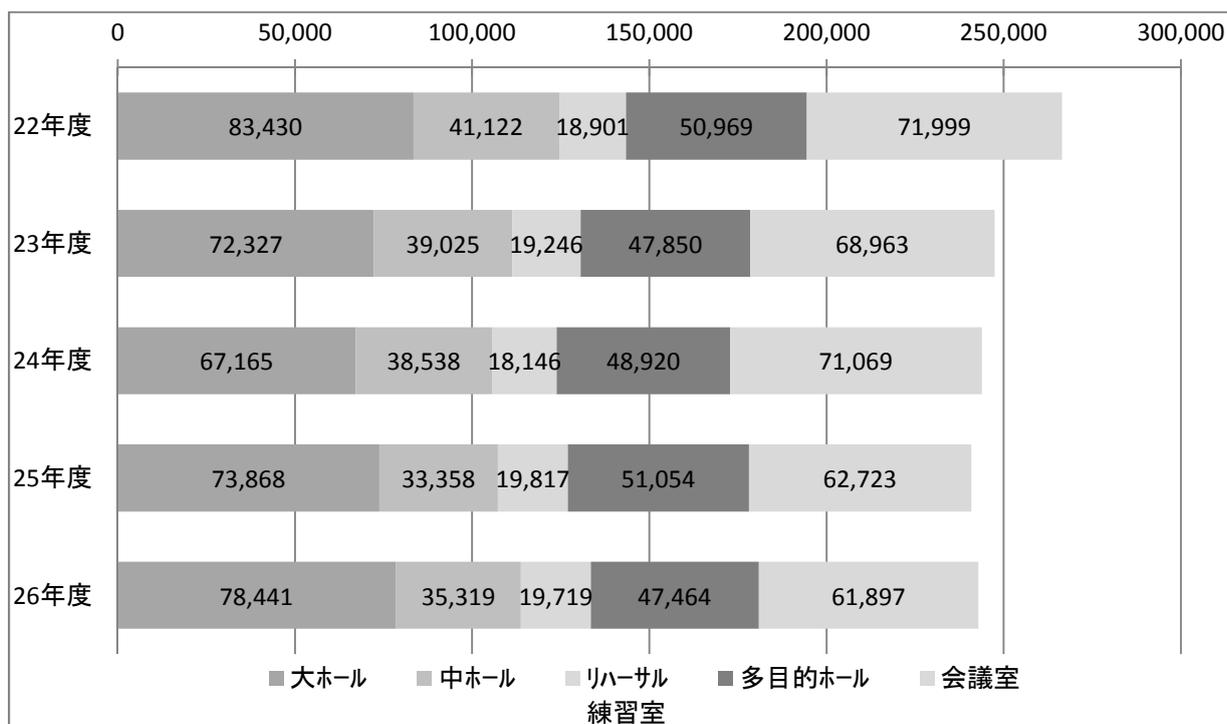
1 会議室等利用状況

(単位:人)

区分	貸館利用者数					合計
	大ホール	中ホール	リハーサル練習室	多目的ホール	会議室	
平成22年度	83,430	41,122	18,901	50,969	71,999	266,421
平成23年度	72,327	39,025	19,246	47,850	68,963	247,411
平成24年度	67,165	38,538	18,146	48,920	71,069	243,838
平成25年度	73,868	33,358	19,817	51,054	62,723	240,820
平成26年度	78,441	35,319	19,719	47,464	61,897	242,840

【ウェルとばた 利用者数の推移】

(単位:人)



2 にぎわい創出事業

行事名	月日	来場者	内容
初夏のをどり	H26. 6. 9	496	戸畑区内で活躍する日本舞踊の団体と和太鼓の発表会で、地域の活性化をはかることを目的として市民会館大ホールで毎年開催。
くきのうみ 花火の祭典観賞会	H26. 7. 18	430	ウェルとばた 6 階屋上庭園を一般市民に開放、花火観賞会を実施。市政だよりで観賞希望者を募集。チケット完売。
夏まつり	H26. 8. 10	台風接近の為 中止	地元ミュージシャンの発掘と支援を目的として、交流プラザでストリートバンドバトルを開催。地元商店街と協働し、オープンカフェ事業を併催。
秋まつり スペシャルウェルカム コンサート	H26. 11. 21	124	ウェルカムコンサート出演者の協力を得て、1年の集大成の演奏会を市民会館中ホールで開催。
スタインウェイを弾いて みませんか	H26. 7. 29 H26. 12. 20	33 30	北九州市に在住するピアノ愛好家に時間限定でスタインウェイを弾き、ピアノに親しむ機会を提供する事業。市民会館中ホールで開催。
歌まつり	H27. 1. 18	500	戸畑区内で活躍するカラオケ6団体が、日頃の練習の成果を市民に発表するため、市民会館大ホールで毎年開催。
映画上映会	H27. 3. 15	140	福祉を題材にした社協らしい映画上映会を開催。「震災地復興支援」「認知症」の映画2作品を中ホールで上映。上映後に識者によるアフタートークを実施。オープンカフェ事業も併催。
ウェルカムコンサート	奇数月第2 木曜日	600	北九州市内で活躍している音楽家に依頼し、様々なジャンルの音楽を隔月第2木曜日の昼休みに交流プラザ特設ステージで演奏会を開催。
七夕飾り	H26. 6. 25 ～7. 8	-	交流プラザの有効活用として企画。ボランティアの協力で七夕飾りを行い、来館者の短冊の飾りつけを開放。セレモニーには地元の幼稚園児も参加。

3 水道光熱費削減の取り組み

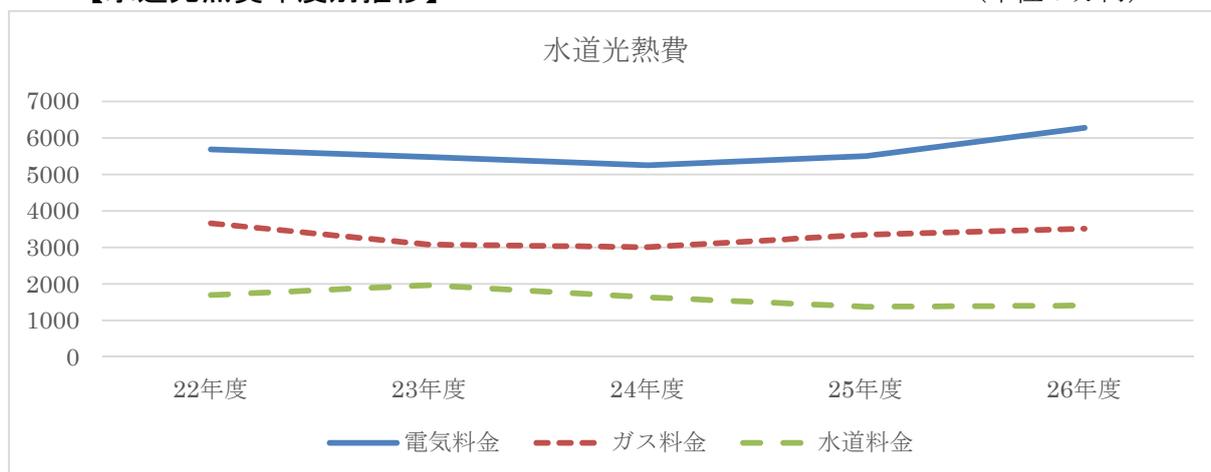
燃料需給契約は、常に最適化を図っており、日毎、月毎に電気、ガス、水道の各使用量を監視するなど節減に努めています。

今年度も、国、市などの省エネの協力要請を受け、また、ライフライン各社と使用量などについて助言を受けながら徹底した運用管理を行いましたが、光熱水費の価格上昇や消費増税の影響もあり、約9.7%の増となりました。今後も、継続して省エネを行い、「ウェルとばたエコ・オフィスプラン」を更に推進及び定着する

よう入居者や利用者に対して協力を要請し、環境保護の観点からの啓発にも取り組みます。

【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位：円)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
電気料金	56,891,178	54,732,862	52,537,885	54,992,565	62,796,307
ガス料金	36,564,278	30,815,448	30,120,197	33,480,503	35,142,082
水道料金	16,957,394	19,615,102	16,310,562	13,775,976	14,090,811

4 物品購入の一元化

平成 17 年度より実施している物品購入一元化は、市社協組織全体の物品購入を施設部ウェルとばた管理課で一括管理することにより、経費の低減を目指しています。職員の経費の削減の意識も高まり、安定した金額の節減効果を出しています。

【物品購入一元化 実績表】

(単位：円)

年度	定価(カタログの 8 割)	購入金額	節減金額	節減率
平成 22 年度	4,824,782	3,742,969	1,081,813	22.4%
平成 23 年度	4,385,001	3,244,793	1,140,208	26.0%
平成 24 年度	5,311,314	3,841,295	1,470,019	27.7%
平成 25 年度	3,531,741	2,576,766	954,975	27.0%
平成 26 年度	2,291,435	1,534,556	756,879	33.0%

5 広報・情報発信状況

市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、試行的にウェルとばたフェイスブックを開設し積極的な情報発信を行いました。事業ごとには、マスコミ、コミュニティFM各社の協力により、一定の成果がありました。

◇住民による地域づくり事業

1 地域福祉活動計画推進事業

「北九州市地域福祉活動第四次計画」（平成 23 年度～平成 27 年度）の 4 年次にあたる平成 26 年度も、第四次計画が円滑に推進されるよう総合企画委員会、区社協事務局長・市社協課長合同会議等において進捗状況の点検・評価を行いながら協議を重ねてきました。

社会福祉協議会が推進役となり地域福祉活動に取り組むことで、活動計画の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現を目指し、市民に対する広報・啓発活動の強化や、子どもから大人までの福祉教育の推進、活動の担い手となる人材の育成・確保、生活・福祉課題の解決に向けた関係機関・団体や福祉施設とのネットワークづくりを推進しました。

（1）北九州市地域福祉活動第四次計画 基本理念・基本目標等

基本理念	基本目標	目標達成のための基本項目
みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり	基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう	1 広報・啓発の強化
		2 福祉教育の推進
		3 地域福祉人材の育成
	基本目標 II みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう	1 小地域福祉活動の活性化
		2 ボランティア・市民活動の支援
		3 災害時の福祉救援体制づくり
	基本目標 III 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう	1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整
		2 共同募金会との連携
		3 小地域福祉活動計画の推進
	基本目標 IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	1 権利の擁護と相談体制の充実
		2 社会参加・自立の支援
		3 調査・研究、提言
	推進基盤の強化	1 校（地）区社協の推進基盤強化
		2 区社協の推進基盤強化
3 市社協の推進基盤強化		
校（地）区・区・市社協の機能を活かした官民協働による新たな仕組みの構築	1 絆プロジェクト北九州への参画 ※	

※絆プロジェクト北九州は平成 25 年 3 月末で解散。

2 住民福祉活動促進事業

本年度も、平成5年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化などに努めました。

基本事業としては、連絡調整会議の活性化を図るとともに、福祉協力員の適正な配置により地域の支援が必要な世帯を見つけ、課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

メニュー事業としては、地域の高齢者の居場所として「高齢者のサロン活動」、次代へ地域福祉活動をつないでいくために「次世代地域福祉活動者育成事業」、地域課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画づくり」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業（基本事業・メニュー事業）の推進 ア 各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況

事業別 区名	実施地区	見守り活動			助け合い活動		
		福祉協力員数	訪問世帯		ニーズ対応チーム人数	処理	
			世帯数	内訳		処理数	処理内容
門司	21	828	12,842	高齢者世帯 (昼間高齢者 だけを含む)	983	68,018	話し相手 327,872
小倉北	25	1,160	22,212		1,644	200,854	買い物支援 25,245
小倉南	27	1,228	20,534		960	73,861	生活情報の提供 221,152
若松	13	473	7,376	障害のある人の世帯	537	31,430	薬とり 3,756
八幡東	21	626	13,011	単身で子育て中の世帯	1,747	117,873	庭掃除 3,833
八幡西	33	1,794	27,404	その他の世帯	1,727	161,472	布団干し・入れ 698
戸畑	14	578	9,383		539	42,106	洗濯 6,082
全市	154	6,687	112,762		8,137	695,614	ゴミ出し 76,644
							その他 30,332

イ メニュー事業Ⅰ実施状況

(単位:校(地)区社協)

メニューⅠ-①「高齢者のサロン事業」

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
西門司	藍島	北方	浜町	高見	木屋瀬	東戸畑	
藤松	足原	東谷	深町	槻田第三	陣原	鞆ヶ谷	
大里南	足立	貫	修多羅	大蔵第一	穴生	大谷第一	
大里柳	到津	葛原	藤ノ木	枝光第一	陣山	浅生	
大里東	井堀	長行	二島	枝光北	則松	天籟寺	
小森江西	泉台	若園	鴨生田	中央第二	熊西	三六	
庄司	今町	企救丘	江川	尾倉第四	上津役	中原	
清見	霧丘	湯川	高須	前田北	本城	西戸畑	
田野浦	貴船	城野	青葉台	前田第三	浅川	牧山東	
大積	清水	沼		前田第四	八児		
松ヶ江南	米町	守恒			鳴水		
	堺町	長尾			引野		
	天神島	東朽網			中尾		
	桜丘	広徳			塔野		
	三郎丸				青山		
	寿山				光貞		
	城野第一				池田		
	富野				竹末若葉		
	中島				黒畑		
	中井				赤坂		
	西小倉				黒崎		
	日明				星ヶ丘		
	南小倉						
	南丘						
11	24	14	9	10	22	9	99

社協のすすめるサロン活動セミナーの開催

実施日	参加者数	内 容
H27.3.5	225	(1) 基調講演「社協のすすめるサロン活動のねらいと役割」 講師：福岡県立大学人間社会学部 准教授 村山 浩一郎 (2) サロンで使える健康体操 発表：八見地区社会福祉協議会活動者 (3) パネルディスカッション ①「サロンの効果」 パネラー：八見地区社会福祉協議会 会長 寺島 美佐子 ②「人材確保」 パネラー：長行校区社会福祉協議会 会長 檜垣 清隆 ③「サロンの拠点づくり」 パネラー：足原校区社会福祉協議会 会長 金子 輝子

メニューⅠ－②「次世代地域福祉活動者育成事業」

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
清見 松ヶ江北	泉台 北小倉 富野	曾根 朽網 曾根東 合馬 山本 徳力 東朽網	小石赤崎 古前 二島	高見 高槻 大蔵第一 大蔵第三 河内 中央第一	折尾西 永犬丸西 赤坂	—	
2	3	7	3	6	3	—	24

※メニュー事業Ⅰとして助成金申請はしていないウエルクラブ活動実施校(地)区社協

藤松 柄杓田 伊川	桜丘 貴船 今町	—	鴨生田	—	—	天籟寺 大谷第二	
3	3	—	1	—	—	2	9

次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施状況

	校（地） 区社協	小学校	参加児童数	活動内容								特徴等
				見守り（訪問）活動	助け合い活動	話し合い活動（活動報告会）	疑似体験	施設訪問・交流	共同募金活動	認知症を学ぶ講座	その他の地域行事	
1	清見	港ヶ丘	10	●		●	●	●	●	●	●	10年目
2	松ヶ江北	松ヶ江北	19	●		●	●	●		●	●	4年目
3	藤松	藤松	12	●		●		●			●	11年目
4	柄杓田	柄杓田	25	●		●					●	12年目
5	伊川	伊川	10	●		●					●	9年目
6	泉台	泉台	17	●	●	●	●	●		●	●	6年目・施設訪問
7	今町	今町	7	●	●	●	●	●	●		●	5年目・清掃活動
8	北小倉	北小倉	30	●	●	●	●	●			●	15年目
9	富野	富野	6	●	●	●	●	●	●		●	5年目
10	貴船	貴船	16	●	●	●	●	●			●	4年目
11	桜丘	桜丘	8	●	●	●	●	●	●		●	4年目
12	曾根	曾根	47	●	●	●	●	●	●		●	9年目・共同募金
13	合馬	合馬	15	●		●	●				●	9年目・清掃活動
14	朽網	朽網	20	●		●		●			●	7年目・まつりみなみ参加
15	曾根東	曾根東	18	●	●	●	●	●	●		●	3年目・共同募金
16	山本	すがお	87	●		●	●	●			●	4年目・敬老会
17	徳力	徳力	23	●		●		●	●		●	9年目・餅つき
18	東朽網		20	●	●	●					●	初年度
19	小石赤崎	小石赤崎	25	●		●	●					11年目
20	鴨生田	鴨生田	31	●	●	●		●				12年目・サロン参加
21	古前	古前	127	●							●	11年目そうめん流し
22	二島	二島	54								●	9年目高齢者との交流
23	高見	高見	19	●							●	6年目高齢者との交流
24	高槻	高槻	20	●	●	●					●	3年目・地域行事参加
25	大蔵第一	大蔵	17	●	●	●	●	●			●	11年目・発表会にOB大学生参加
26	大蔵第三			●	●	●	●	●			●	●
27	河内	河内	4	●	●	●					●	9年目七夕まつり
28	中央第一	八幡	15	●	●	●		●			●	12年目施設訪問交流
29	折尾西	折尾西	24	●		●	●	●			●	9年目

30	永犬丸西	永犬丸西	28	●	●	●		●	●	●	9年目・親子会の実施、 OB中学生参加
31	赤坂	赤坂	12	●		●	●	●	●	●	6年目・清掃活動
32	天籟寺	天籟寺	23	●					●	●	6年目
33	大谷第2	大谷	59						●		8年目

ウェルクラブ活動 取り組み校（地）区社協数及び参加児童数の推移



メニューⅠー②「次世代地域福祉活動者育成事業」

平成26年度小地域福祉活動計画策定校区と重点実施項目

校（地）区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
小倉北	桜丘	「桜丘 にこにこふれあいプラン」（平成27～31年度） ①高齢者のサロン活動の拡大 ②地域の言動力を高めるため福祉協力への勧誘促進をする（増員）
八幡西	竹末若葉	「竹末若葉 うるおい元気プラン！」（平成27～31年度） ①福祉協力員制度の確立・充実・拡大を図る ②一人暮らし訪問対策活性化 ③地域高齢者のサロン活動の推進
計 2校(地)区		

小地域福祉活動計画策定研修（ふくしプランニング工房）の開催

① 講師 福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎

② 会場 ウェルとばた 12H I 研修室

回	実施日	参加者数	内 容
1	H26. 6. 13	12 人	【開講挨拶・オリエンテーション】 【講義】①計画づくりの意義、②策定スケジュールの設定、 ③計画策定委員会の設置、④基本計画（体系図） 【演習】基本計画（体系図）をつくろう
2	H26. 10. 10	10 人	【講義】①地域の福祉課題の整理 ②基本計画（体系図）と実施計画 【演習】①課題を視覚的に抽出・整理するカードワーク ②基本計画（体系図）をつくろう～体系図と地域の 課題とのつきあわせ～
3	H27. 2. 20	10 人	【発表】計画書の発表～基本計画の特徴と重点実施項目 【講評・講義】計画の編集と計画の推進・広報について
計		32 人	

ウ メニュー事業Ⅱ実施状況

(単位:校(地)区社協)

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
① 地域交流活動 世代間交流、健康づくり等	5	20	26	12	18	26	4	111
② 生活支援活動 買い物支援、子育て支援等	2	9	11	4	7	9	0	42
③ 研修・学習活動 住民啓発講座、視察研修等	0	3	13	7	13	12	3	51
④ 広報・調査活動 広報紙発行、障害理解等	1	2	21	6	12	22	1	65
⑤ 福祉救援体制づくり 要援護者マップ、避難訓練等	0	3	5	2	11	6	2	29
⑥ 年末年始ふれあい活動 見守強化、年末年始行事等	0	15	25	8	12	29	0	89
⑦ その他の活動	1	0	1	1	0	0	0	3
計	9	52	102	40	73	104	10	390

(2) 校(地)区社協活動者交流会の開催

実施日	参加者数	内 容
H26. 11. 23	249 人	(1) 事例発表 「校地区社協におけるふうせんバレーボール」を通じた障害者との交流 ① 赤坂地区社会福祉協議会 会長 松下 喜久代 ② 中原地区社会福祉協議会 会長 竹内 万司 ③ 東谷地区社会福祉協議会 事務局長 篠原 政美 ④ 引野校区社会福祉協議会 会長 山本 英樹 (2) 「ふうせんバレーボール」の実技指導、ストレッチ 講師：穴生学舎やまびこの会 (3) 「ふうせんバレーボール」校(地)区社協交流戦

(3) 資料・発刊物

発行時期	資 料 名	発行部数
H27. 3	災害時福祉救援体制づくり活動事例集	3,000 部
H27. 3	次世代地域福祉活動者育成事業啓発DVD	200 枚

(4) 出前講演活動の実施

主な内容	回数(回)	受講者数(人)
地域福祉活動推進の要～ふれあいネットワーク活動～	21	746
地域づくりはサロン活動から	4	163
災害にも強い福祉のまちづくり	1	40
ボランティアの心を学ぶ	15	501
あんしんな暮らしのお手伝い～地域福祉権利擁護事業～	10	310
障害者の正しい理解と障害者の地域での生活	17	795
ひきこもり支援の現状と課題	5	150
個人情報保護を正しく理解し共助の力を高めるために	2	80
その他	1	70
計	76	2,855

(5) 社協活動の紹介等

紹介資料・メディア等	紹介内容等
FBS福岡放送 新なるほど北九州[10.6]	一般向け認知症を学ぶ講座 基礎編・ステップアップ編(8/28)
RKB毎日放送[11.14]	認知症サポーター養成講座 筒井市民センター(11/11)
日本教育新聞 [2.10]	民生委員と小学生が一緒に地域福祉活動
西日本新聞朝刊 [3.27]	老後ひとりぼっち「支えるのは誰か」 つかず離れずに見守るーサロン活動ー

(6) 社協PR用Tシャツ・エプロン・ポロシャツの頒布 (単位:枚)

Tシャツ大人用	Tシャツ児童用	エプロン	ポロシャツ	計
148	428	132	171	879

(7) 他都市からの照会・視察受入れ

相手先	対応	内容
仙台市	照会	ふれあいネットワーク活動の助成財源について
唐津市社協	照会	校(地)区社協の合議体整備状況について
久留米市社協	照会	ふれあいネットワーク活動の訪問記録様式について
遠賀町社協	照会	高齢者見守りサポーター派遣事業について 介護保険総合事業への対応状況について

(8) その他会議への参画

内容	回数
社会福祉協議会活動全国会議	1
九州社会福祉協議会連合会地域福祉委員会	1
都道府県・指定都市社協の経営に関する委員会指定都市社協分科会	1
北九州市ホームレス自立推進協議会	2
北九州市障害者自立支援協議会地域ネットワーク部会	4
地域包括支援に関する会議	5

◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの新規養成等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを進めました。

平成26年度は、認知症サポーター受講者11,428人、認知症サポーターステップアップ研修受講者815人、合計受講者12,243人と受講者が前年の2倍以上になり、この結果、認知症サポーターの累計が55,941人と大幅に増加しました。

また、メール配信サービスでは、登録者数が前年の2倍以上となり、行方不明の徘徊高齢者の情報や認知症に関する情報を多くの人に配信することができました。

(1) 認知症サポーター養成講座実施状況

開催回数						サポーター数(人)					
住民団体		企業	学校	行政	計	住民団体		企業	学校	行政	計
校区社協	その他					校区社協	その他				
40	70	119	22	36	287	1,250	2,910	4,331	990	1,947	11,428

(2) 認知症サポーターステップアップ研修実施状況

開催回数						サポーター数					
住民団体		企業	学校	行政	計	住民団体		企業	学校	行政	計
校区社協	その他					校区社協	その他				
21	3	3	0	0	27	687	51	77	0	0	815
認知症サポーター数(累計)											55,941

(3) キャラバン・メイト新規養成研修の実施

実施日	人員・会場	内容
H26. 8. 23	50人 ウェルとばた	(1) 講義「認知症サポーターに伝えたいこと」 (講師) たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生 (2) 講義「認知症サポーターを養成する意味とは」 (講師) 老いを支える北九州家族の会 代表 高田 芳信 (3) 講義「講座の運営方法について」 (講師) デイサービス「まあちゃんち」 代表 梅田 茂 (4) 連絡「事務連絡」 北九州市社会福祉協議会

(4) キャラバン・メイトフォローアップ研修の実施

実施日	人員・会場	内 容
H27. 3. 14	36人 ウェルとばた	(1) 講義「北九州市オレンジプラン素案について」 (講師) 北九州市保健福祉局認知症対策室 認知症対策室推進係長 秋貞 英之 (2) 発表「講座を行うにあたっての確認」 (説明) キャラバン・メイト 岡崎 直実 発表「事業の推進にあたって共有しておくべきもの」 (説明) キャラバン・メイト 伊藤 千里 (3) 報告「認知症サポーターキャラバン事業の運営について」

(5) 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	開催場所	キャラバン・メイト	受講人数
H26. 5. 22	ウェルとばた	基礎編：権頭 喜美恵	58人
		応用編：福嶋 万里子	66人
H26. 11. 8		基礎編：富田 弘子	33人
H26. 12. 19		基礎編：西田 香代子	28人
H27. 3. 6		コムシティ	基礎編：上田 直樹
	応用編：福嶋 万里子		66人

(6) チラシの作成

名 称	発行部数(計)
認知症について学ぶ講座(基礎編・応用編)	6,000部

(7) メール配信サービス状況

登録者数				配信回数		
男性	女性	計	前年度より増加	行方不明者情報	認知症関連イベント情報	計
1,246人	1,180人	2,426人	1,386人	17回	2回	19回

(8) その他

内 容	回 数
北九州市「認知症啓発月間」街頭啓発への参加	1回
もりフォーラム実行委員会への参加	1回

◇介護サービス相談員派遣事業

介護サービスの質の向上を図ることを目的として、介護サービス相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者へサービス向上、改善に結びつく提案などを行いました。

平成26年度は、新規に28カ所の事業所へ派遣を行い、合計130カ所へ相談員を派遣しました。

この拡大に伴い、介護サービス相談員（有償ボランティア）の対応力の向上、利用者の生活の向上を支援するため、相談員の連絡会を4回開催しました。第3回連絡会では、介護サービス事業所の視察研修を行いました。

また、相談事業の効果的な運営を図るため、事務局担当者が全国介護相談活動事例報告会に参加しました。

1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき 伝 え 業 た 所 件 数 に
					事業所に伝えた 件数			相談者の希望に より伝えなかった 件数			
	回数	時間	人数	件数	つ 利 用 者 に て	つ 施 い 設 に て	そ の 他	つ 利 用 者 に て	つ 施 い 設 に て	そ の 他	
介護老人福祉施設	470	964:10	5,564	14,559	6	66	2	2	3	0	43
介護老人保健施設	78	163:55	1,236	3,710	2	8	0	0	1	0	2
通所介護	330	601:16	3,218	8,439	2	3	0	0	0	0	5
通所リハビリテーション	48	84:00	825	1,449	1	3	0	0	0	1	1
認知症対応型共同生活介護	698	1,195:59	5,439	12,517	5	25	2	0	1	0	51
介護療養型医療施設	19	38:00	147	370	0	3	0	0	0	0	1
小規模多機能型居宅介護	133	139:05	719	1,728	2	3	1	0	0	0	2
計	1,776	3,186:25	17,148	42,772	18	111	5	2	5	1	105

2 過年度派遣事業の推移

実施年度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	通所介護	通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護	介護療養型医療施設	小規模多機能型居宅介護	合計 (カ所)	相談員数 (人)
平成22年度	17	9	71	10	32	5	-	144	116
平成23年度	24	9	61	6	36	4	-	140	106
平成24年度	32	12	45	6	40	4	-	139	99
平成25年度	30	7	39	3	42	2	7	130	91
平成26年度	39	6	20	3	50	2	10	130	92

3 新規派遣開始事業所

施設種別	新規派遣開始	継続派遣中	合計（カ所）
	平成 26 年 9 月	（平成 26 年 4 月）	（平成 27 年 3 月）
介護老人福祉施設	11	28	39
介護老人保健施設	0	6	6
通所介護	0	20	20
通所リハビリテーション	0	3	3
認知症対応型共同生活介護	13	37	50
介護療養型医療施設	1	1	2
小規模多機能型居宅介護	3	7	10
計	28	102	130

4 派遣終了事業所

施設名称	派遣終了事業所数	派遣年数	派遣期間
介護老人福祉施設	4	5年	平成 21 年 10 月～平成 27 年 3 月
介護老人保健施設	1	5年	平成 21 年 10 月～平成 27 年 3 月
通所介護	12	3年	平成 23 年 7 月～平成 27 年 3 月
認知症対応型共同生活介護	16	3年	平成 23 年 7 月～平成 27 年 3 月
介護療養型医療施設	3	3年	平成 23 年 7 月～平成 27 年 3 月
計	36		

5 介護サービス相談員構成

(単位：人)

内 訳	男性	女性	合計
生きがい活動支援員（市社協非常勤職員）	0	10	10
見守りサポーター	1	21	22
北九州市社会福祉協議会 退職職員	1	8	9
一般公募者（平成 20 年度より）	3	33	36
その他	0	15	15
計（平成 27 年 3 月末現在）	5	87	92

6 介護サービス相談員連絡会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 5. 12	56 人 ウェルとばた 多目的ホール	(1) 講義「介護保険制度の概要、虐待防止について」 北九州市保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 長田 有司 (2) 連絡事項 ・派遣満了事業所アンケートについて ・健康マイレージ事業について
H26. 8. 8	52 人 ウェルとばた 12 階H I 研修室	(1) グループワーク 事例検討及び発表 (6 グループ) (2) 講 評 北九州市保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 長田 有司 北九州市社会福祉協議会 福祉部 地域福祉課長 磯田 佳宏 (3) 連絡事項 第 3 回連絡会 (視察研修について)
① H26. 11. 11	19 人	介護サービス事業所 視察研修 (目的) 介護サービス相談員が担当以外の介護サービス事業所の状況を知ることで、施設サービスについての広い見識を持ち、利用者からの幅広い相談内容に対応できるように、また、視察研修を通じて相談員相互の交流や情報交換を促すことを目的として実施。
② H26. 11. 14	23 人 介護老人保健施設 高倉苑	(視察内容) ・施設の概要、介護老人保健施設について ・施設内の見学 ・施設担当者との意見交換
H27. 2. 16	60 人 ウェルとばた 12 階H I 研修室	(1) 講義「認知症の方への対応の方法、家族の気持ち」 有限会社故郷 ふれあい家族 代表取締役 野村 美代子 ボランティア 本田 敬子 (2) 連絡事項 ・全国介護相談員調査結果について ・次年度事業予定 ・健康マイレージ事業について

7 新規事業者説明会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 8. 19	24名 ウェルとばた 12階H I会議室 22施設	平成26年度北九州市介護サービス相談員派遣事業 新規事業者説明会 (1) 介護サービス相談員派遣事業の概要 北九州市保健福祉局 介護保険課 事業者支援係 田邊 朝美 (2) 介護サービス相談員の訪問までの流れ 北九州市社会福祉協議会 福祉部 地域福祉課長 磯田 佳宏

8 報告書・リーフレットの作成

発行日	発行部数	内 容
H26. 8. 15	1,000	平成25年度介護サービス相談員派遣事業報告書

9 研修・報告会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 5. 27 ～ H26. 5. 30	2人 A P大阪駅前 (大阪市北区)	平成26年度介護相談員養成研修
H26. 7. 3	2人 A P大阪駅前 (大阪市北区)	平成26年度介護相談員フォローアップ研修

◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」(有償ボランティア)を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

平成26年度は、新たにサポーター16名を加え、延べ6日の養成研修を行いました。

1 派遣状況等

新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
19	17	15	385

2 関係機関等との連絡調整

相手先	内容	申請方法	利用内容 活動内容	日程調整	介護保険等 他のサービスに関する 相談	その他	合計
家族		5	58	154	0	1	218
サポーター		3	134	201	1	22	361
ケアマネジャー		27	20	18	0	0	65
地域包括等		37	9	1	0	3	50
その他(市民等)		0	0	0	3	30	33
計		72	221	374	4	56	727

3 過年度利用状況の推移

実施年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	派遣延べ回数
平成20年度	59	123	49	668
平成21年度	60	126	78	590
平成22年度	77	67	65	218
平成23年度	95	96	49	377
平成24年度	80	145	49	559
平成25年度	58	119	40	370
平成26年度	60	114	50	385

4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	人員・会場	内 容
H26. 6. 30	17名 ウェルとばた 12階H I 研修室	(講義)「認知症の方への対応のしかた」 公益社団法人福岡県看護協会 副会長 野口 久美子 (グループワーク) 3グループ ・事例検討 3つの事例をあげ、それぞれのケース の対応のしかたについて話し合った。
H27. 2. 16	34名 ウェルとばた 12階H I 研修室	(連絡会) 高齢者見守りサポーター派遣事業の現状 (研修)「認知症の方への対応の方法、家族の気持ち」 (有) 故郷 代表取締役 野村 美代子

5 高齢者見守りサポーター養成研修

実施日	人員・会場	内 容
H26. 8. 20	15名 ウェルとばた 12階H I 研修室	「社会福祉協議会と高齢者見守りサポーター派遣事業」 北九州市社会福祉協議会 福祉部長 下田 俊 「覚えて安心・応急手当」 戸畑消防署 救急隊 中尾 篤
H26. 8. 25 ～ H26. 8. 29	16名 各施設	グループホームでの施設実習 1人1回2時間の研修
H26. 9. 5	12名 ウェルとばた 12階H I 研修室	「登録証交付」 「認知症サポーター養成研修」 北九州市社会福祉協議会 福祉部 地域福祉課長 磯田 佳宏 「先輩サポーターからのアドバイス」 見守りサポーター 富田 弘子

6 事業説明・紹介

内 容	回数	人員
出前講演 (年長者研修大学校周望学舎)	8	242
校(地)区社協関連会議 (活動者交流会)	1	20
住民	17	552
市社協各部署	3	100
企業	3	83
その他	1	10
合 計	33	1,007

7 チラシ・報告書等の作成

名称	発行部数	発行日等
高齢者見守りサポーター派遣事業（リーフレット）	3,000部	H27. 3.31

8 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数 (電話回答 件 含む)	未回答数	回答率
H27. 2.10	44	32	12	73%
(調査結果概要) (1)今回は現在利用していない登録者を対象にアンケートを実施した。 (2)未利用の理由として、①状態が落ち着いている5名(11%) ②家族の介護で対応13名(28%) ③介護保険で対応12名(26%) ④施設入所6名(13%) ⑤その他10名(22%) (3)今後の利用については①すぐに利用再開0名(0%) ②しばらくして利用2名(6%) ③いまのところ利用の予定なし21名(66%) ④取消希望9名(28%)				

9 サポーター意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
H27. 2.26	51名	50名	1名

◇高齢者地域交流支援通所事業

高齢者地域交流支援通所事業は、平成 12 年から北九州市より受託し実施している事業です。市内に居住する在宅の 65 歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、介護予防や自立支援のためのプログラムを提供することを目的に、市内 50 ヶ所の市民センターにおいて実施しました。

特徴的な取り組みは、運動指導士による「運動器の機能向上」、管理栄養士による「栄養改善」、歯科衛生士による「口腔機能向上」を複合的に行う介護予防プログラムで、全市民センターにおいて月 2 回実施し、延べ 13,312 人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。

介護予防の効果により、平均年齢 81.5 歳という約 700 名の高齢者が介護保険の要介護認定を受けずに在宅生活を送っています。

また、支援員や指導員が普段から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数 (日)	登録者数 (人)	利用者数 (人)			平均 利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	94	6	434	0	434	4.6
	清見	91	10	761	0	761	8.4
	白野江	90	14	1,088	0	1,088	12.1
	錦町	94	13	836	27	809	8.9
	萩ヶ丘	94	10	788	88	700	8.4
	松ヶ江北	97	14	1,162	287	875	12.0
	丸山	93	7	682	75	607	7.3
小倉北区 ⑧	足原	90	12	976	0	976	10.8
	足立	91	12	927	0	927	10.2
	今町	95	19	1,351	96	1,255	14.2
	清水	95	25	1,852	92	1,760	19.5
	寿山	91	13	990	85	905	10.9
	中島	91	16	811	0	811	8.9
	西小倉	92	13	996	0	996	10.8
	南小倉	94	9	667	143	524	7.1
	井堀	95	17	1,175	19	1,156	12.4
小倉南区 ⑨	長行	90	10	808	140	668	9.0
	葛原	93	17	1,211	268	943	13.0
	曾根	96	23	1,892	166	1,726	19.7
	長尾	94	10	645	188	457	6.9
	貫	94	8	682	72	610	7.3
	東朽網	95	16	1,266	308	958	13.3

区	市民センター	実施日数 (日)	登録者数 (人)	利用者数 (人)			平均 利用者数
					男	女	
小倉 南区 ⑨	守恒	94	15	1,284	152	1,132	13.7
	湯川	89	14	1,075	323	752	12.1
	若園	94	16	1,148	268	880	12.2
若松区 ⑤	赤崎	95	14	1,004	0	1,004	10.6
	高須	92	11	571	97	474	6.2
	深町	95	8	645	72	573	6.8
	二島	94	10	879	0	879	9.4
	若松中央	95	14	1,222	89	1,133	12.9
八幡東区 ⑤	枝光	92	13	1,018	85	933	11.1
	枝光南	95	9	571	11	560	6.0
	尾倉	95	17	1,361	0	1,361	14.3
	槻田	92	17	1,207	441	766	13.1
	前田	92	16	1,144	0	1,144	12.4
八幡西区 ⑪	青山	94	17	1,438	173	1,265	15.3
	赤坂	91	12	811	0	811	8.9
	浅川	92	11	941	0	941	10.2
	池田	94	16	1,080	83	997	11.5
	永犬丸	90	18	1,177	1	1,176	13.1
	大原	90	19	1,461	0	1,461	16.2
	楠橋	91	28	1,874	9	1,865	20.6
	木屋瀬	95	18	1,379	78	1,301	14.5
	塔野	95	18	1,372	84	1,288	14.4
	鳴水	92	17	1,022	46	976	11.1
	本城	93	11	819	0	819	8.8
戸畑区 ④	大谷	92	11	658	0	658	7.2
	浅生	94	12	1,017	0	1,017	10.8
	中原	89	16	1,246	0	1,246	14.0
	牧山東	94	11	838	0	838	8.9
計 (50 館)		4,649	703	52,262	4,066	48,196	11.2

2 過年度利用状況の推移

実施年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均利用者数
平成 22 年度	49	701	4,708	54,335	11.5
平成 23 年度	49	696	4,683	53,603	11.4
平成 24 年度	50	699	4,774	53,925	11.3
平成 25 年度	50	682	4,696	51,406	10.9
平成 26 年度	50	703	4,649	52,262	11.2

3 介護予防プログラム

内 容	1館あたりの年間回数	延実施回数	延参加者数
体力テスト	2	100	1,165
運動器の機能向上プログラム	17～18	897	9,944
栄養改善プログラム	2	100	1,100
口腔機能向上プログラム	2	100	1,103
計	24	1,197	13,312

4 研修会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 4. 21 ～H27. 3. 19 の間で延べ 20回	26人 市民センター (対象:新採職員)	平成26年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
H26. 10. 6 H26. 10. 7	94人 ウエルとばた 12階研修室 (対象:在職5年未満)	平成26年度支援員現任研修Ⅰ ■講義1 「いざという時の応急救護」 (講師) 戸畑消防署 ■講義2 「上手なコミュニケーションの取り方 ～アサーションについて～」 (講師) カウンセリングオフィス北九州 カウンセラー 城戸 孝義
H26. 11. 6 H26. 11. 7	64人 ウエルとばた 12階研修室 (対象:在職5年以上)	平成26年度支援員現任研修Ⅱ ■講義1 「今後の高齢社会を考える～地域包括ケア ～介護予防や認知症対応の視点から」 (講師) サポートセンター本城 中村 順子 ■講義2 「高齢者とメンタルヘルス～人と人が気 持ちよく接するふれあいの場であり続ける ために～」 (講師) 元福岡教育大学 健康科学センター 看護師・心理相談員 飯田 一恵
計 (24回)	184人	

5 会議

会議名	実施回数	内 容
生活福祉課定例会	12	概ね毎月1回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等
ブロック会議（年2回）	55	支援員の情報交換
会議形式（年1回）	5	50センターをブロックに分けての、事務局、指導員、支援員による情報交換、連絡調整等
視察形式（年1回）	50	他センターへの支援員の現場視察、情報交換
ミーティング	600	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング（各市民センター月1回、2時間程度）
計	667	

6 全体行事「年長者作品展」

区	実施日	会場	内 容
門司	H26. 9. 10～ 9. 12	門司生涯学習センター 1階 講堂	高齢者地域交流支援通所事業のプログラムの中で、利用者が制作した様々な作品を、各区社協主催の「年長者作品展」に出展
小倉南	H26. 9. 2～ 9. 6	小倉南生涯学習センター 2階 展示コーナー	
若松	H26. 10. 27～10. 29	若松区役所 1階 市民ホール	
八幡東	H26. 9. 8～ 9. 12	八幡東区社会福祉センター 3階研修室及び1階ロビー	
八幡西	H26. 9. 9～ 9. 13	コムシティ3階 北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー	
戸畑	H26. 10. 16～10. 22	戸畑生涯学習センター 1階 市民ギャラリー	
計		6回	

7 各種交流事業

種 別	回数	人員	内 容
世代間交流	19	227	そうめん流し、レクリエーション、誕生会、かるた取り 他
地域・団体との交流	319	4,238	センターまつり、文化祭、避難訓練、クリスマス会、ペタンク大会 他
ふれあい昼食交流会	112	1,371	食生活改善推進員の実施する「ふれあい昼食交流会」に参加し、地域の高齢者との交流を図る。
計	450	5,836	

8 実習生の受け入れ

実施日	会場・人員	内 容
H26. 8. 25 H26. 8. 27	ウェルとばた 市民センター 大学生 10 人	平成 26 年度相談援助実習 ■講義「生活福祉課事業概要」について ■実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加 (県内の 6 大学より受け入れ)
H26. 6. 18 H26. 7. 7 H26. 7. 9 H26. 7. 14	市民センター 九州歯科大学学生 24 人	九州歯科大学実習生の受入 ■実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加
H26. 7. 18 H26. 7. 25	錦町市民センター 北九州市立大学生 7 人	北九州市立大学実習生の受入 ■実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加
計	41 人	

9 支援員面接選考

実施日	面接会場	内 容
H26. 6. 10～ H27. 1. 19 の間で 延べ 6 回	各市民センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、選考委員会（市民センター館長、まちづくり協議会、市社協で構成）を設けて面接選考試験を実施

10 広報・啓発

内 容	実施回数
市民センターだより掲載、各種交流事業等での事業紹介	12
市民センターだより掲載、各種交流事業等での PR による利用者募集	40
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員募集	15
計	67

◇健康マイレージ事業

健康マイレージ事業は、生涯を通じた健康づくりを推進するため、40歳以上の市民を対象に、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや各種健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進することを目的としています。

この事業は、平成21年度から始まりましたが、当初3年間は市が直接実施し、平成24年度から本会が受託しました。昨年度は応募者数が前年比132%の20,560人の応募があり、本年度についても、市の目標値である応募者20,000人を上回る、24,579人の方のご応募をいただくという、大きな成果をあげることができました。

その具体的な取り組みとして、ポスター・のぼり等の広報啓発物を用いたPRや職員による出前形式の事業説明を延べ1,616回実施するとともに、ホームページでのブログによる広報、社協だよりや市民センターだよりなど広報紙への掲載、本会賛助会員企業を主体とした民間企業へのPRなど、社協の組織力を十分に活用した幅広い活動を行いました。

また、校(地)区社協の福祉協力員等を主体に、見守り対象者への健康づくり活動等への参加の呼びかけを行い、「ふれあいネットワーク活動」の充実強化に努めました。

1 実施状況

(1) 実施期間

- ① 準備期間：平成26年 4月 1日～平成26年 5月 31日
- ② ポイント配付期間：平成26年 6月 1日～平成27年 3月 5日
- ③ 対象事業登録期間：平成26年 6月 1日～平成27年 3月 5日
- ④ 応募受付期間：平成26年 10月 1日～平成27年 3月 5日

(2) 広報・啓発活動等実施実績

① 事業説明・パンフレット等配付実績

項目	平成26年度
事業説明回数	1,616回
パンフレット配付数	220,971部
ポイントシール配付数	447,388部
対象事業一覧表配付数	7,272部

② 広報紙等への掲載回数実績

掲載紙の種別	平成26年度
市政だより・区役所の発行する広報紙	9回
市民センターだより	249回
市社協・区社協・校(地)区社協の発行する広報紙	44回

掲載紙の種別	平成 26 年度
その他の地域団体、企業が発行する広報紙	39 回
新聞・フリーペーパー	5 回
計	346 回

- ③ ホームページへの掲載（対象事業一覧表、活動報告等） 72 回
- ④ ブログ『マイレージ通信』への掲載 43 回
- ⑤ ブログ『マイレージ通信』へのアクセス回数 2,342 回
- ⑥ 市社協賛助会員企業への事業PR（DM送付含む） 237 社
- ⑦ のぼり（大）作成 0 枚

⑧ コーディネーター等によるイベント・事業でのPR活動

実施日	会場	出務人員	イベント・事業名
H26. 6. 8	夜宮公園	1	とばた菖蒲まつり
H26. 6. 28	穴生ドーム	1	市老連グラウンドゴルフ大会
H26. 7. 7	小倉南生涯学習センター	1	ボランティアフェスタ
H26. 8. 23	志井公園	2	まつりみなみ
H26. 9. 19	ウェルとばた	3	戸畑区敬老会
H26. 10. 12	ひびしんホール	2	福祉バザー
H26. 10. 26	ザ・モール小倉	1	小倉南区健康なんでも相談
H26. 11. 9	西日本総合展示場	6	第4回健康フェア
H26. 11. 16	ウェルとばた	15	社会福祉大会・市民ふれあいフェスティバル
H26. 11. 22	穴生ドーム	1	奥洞海グラウンドゴルフ大会
H26. 11. 28	若松市民会館	1	福祉とボランティアの集い
計	11 回		

⑨ 北九州市健康づくり推進員の会による広報・啓発活動実績

■実施期間：平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日

区	センター数 (館)	活動センター数 (館)	延べ活動数 (回)	活動費対象 実績数(回)	活動費 (円)
門司	20	18	209	159	159,000
小倉北	22	22	357	252	252,000
小倉南	24	21	459	252	252,000
若松	10	9	101	81	81,000
八幡東	13	13	201	134	134,000
八幡西	33	32	555	330	330,000
戸畑	12	12	198	144	144,000
計	134	127	2,080	1,352	1,352,000

※活動費は、1,000 円/回で、1センターあたり 12 回まで。

(3) 対象事業登録実績

区分（事業登録者）	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
行政	235	202	182
保健福祉局	67	60	41
健康推進課	56	51	38
高齢者支援課	10	9	2
障害福祉課	0	0	0
介護保険課	0	0	0
その他	1	0	1
門司区役所	9	13	11
小倉北区役所	19	21	12
小倉南区役所	3	8	5
若松区役所	15	19	16
八幡東区役所	11	13	15
八幡西区役所	25	23	15
戸畑区役所	17	12	19
その他の市関係局	69	33	48
関係団体等	106	115	188
体育協会・レクリエーション協会	21	25	52
三師会	9	11	11
各種講座・教室（カルチャーセンター等）	76	79	125
スポーツクラブ	36	29	28
市社協	40	44	60
企業	20	35	26
地域住民事業（区・校区社協含む）	2,005	3,074	3,408
門司区	172	273	308
小倉北区	218	425	544
小倉南区	444	539	701
若松区	196	295	320
八幡東区	215	318	270
八幡西区	608	958	1,003
戸畑区	152	266	262
市民センター	1,474	2,402	2,425
門司区（19）	207	338	361
小倉北区（22）	119	341	252
小倉南区（24）	196	342	368
若松区（10）	115	175	197
八幡東区（13）	157	212	177
八幡西区（33）	610	866	895
戸畑区（12）	70	128	175
計	3,916	5,901	6,317

※市民センターの（ ）内は、サブセンターを含むセンター数。

(4) 校(地)区社協による啓発活動実績

■活動期間：平成26年6月1日～平成27年2月28日

区社協	校(地)区 社協数	啓発活動回数合計(回)					活動費交付 額(円)
		事業登録	連絡調整	広報	参加促進	計	
門司	21	371	376	534	2,141	3,422	1,050,000
小倉北	25	397	594	948	3,895	5,834	1,250,000
小倉南	27	723	540	373	3,136	4,772	1,270,000
若松	13	126	189	227	974	1,516	564,000
八幡東	21	189	116	47	10,245	10,597	1,050,000
八幡西	33	869	986	873	9,963	12,691	1,650,000
戸畑	14	146	264	249	1,646	2,305	700,000
計	154	2,821	3,065	3,251	32,000	41,137	7,534,000

2 応募者実績

(1) 応募件数推移

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
応募総数		9,591	15,881	21,050	25,166
有効件数	7,040	9,440	15,544	20,560	24,579
無効件数		151	337	490	587
前年比 (有効件数)	153%	134%	165%	132%	120%
目標達成率	35%	47%	78%	103%	123%

※無効件数は、年齢非該当、重複応募、内容未記入等。

※目標達成率は、20,000人を分母とする。

ア 性別応募者実績

性別	平成24年度	平成25年度	平成26年度
男	5,114	6,751	8,066
女	10,430	13,809	16,513
計	15,544	20,560	24,579

イ 区別応募者実績(対前年)

区等	平成26年度				平成25年度 (計)	増減	前年比
	男	女	計	割合			
門司	859	1,926	2,785	11%	2,198	587	127%
小倉北	1,070	2,407	3,477	14%	2,885	592	121%
小倉南	1,682	3,122	4,804	20%	3,814	990	126%
若松	657	1,464	2,121	9%	1,729	392	123%
八幡東	764	1,444	2,208	9%	1,941	267	114%
八幡西	2,393	4,838	7,231	29%	6,287	944	115%
戸畑	611	1,287	1,898	8%	1,653	245	115%
市外	30	25	55	0%	53	2	104%
計	8,066	16,513	24,579	100%	20,560	4,019	120%

※市外の応募者は、市内在勤の本人確認をした人数を計上。

ウ 年齢別応募者実績

年齢	平成 26 年度			
	男	女	計	割合
40～49 歳	837	1,581	2,418	10%
50～59 歳	740	1,577	2,317	9%
60～64 歳	735	1,679	2,414	10%
65～69 歳	1,273	3,130	4,403	18%
70～74 歳	2,042	3,896	5,938	24%
75～79 歳	1,494	2,679	4,173	17%
80 歳～	945	1,971	2,916	12%
計	8,066	16,513	24,579	100%

エ 健診別応募者実績（対前年）

種別	平成 26 年度	平成 25 年度	増減	前年比
特定健診	9,002	7,610	1,392	118%
その他の検診	15,577	12,950	2,627	120%
計	24,579	20,560	4,019	120%

※その他は、職場の健診、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、人間ドック、がん検診、介護予防健診、被爆者健診、PET健診、脳ドック、基本健診

オ 景品別応募者実績

ポイント	景品名	発送数(件)	割合
5	酢わかめ・ふりかけセット	620	3%
	減塩おみそ汁 3 種セット	1,136	5%
	軽量糸ガーゼマフラー	787	3%
	巾着付マイバッグ&防水カバー	738	3%
	合馬の筍 炊込みご飯の素	2,247	9%
10	ドレッシング詰め合わせ	1,840	7%
	100%ジュース・機能性飲料詰合せ	3,951	16%
	タニタ歩数計&今治産エコフェイスタオルセット	1,967	8%
	シャボン玉浴用セット	1,711	7%
	米、ぬか炊きセット	9,582	39%
計		24,579	100%

(2) 応募者アンケートの実施

アンケート数	回収数	回収率
1,500 件	897 件	60%

3 コーディネーター等業務連絡会議の開催実績

月日	会場	人員	内 容
H26. 4. 8	ウェルとばた	19	効果的な事業運営のための調整、課題協議、企画検討、業務報告、情報交換・共有等
H26. 5. 7		18	
H26. 6. 10		19	
H26. 7. 8		18	
H26. 8. 5		19	
H26. 9. 9		19	
H26. 10. 8		18	
H26. 11. 11		15	
H26. 12. 9		19	
H27. 1. 6		20	
H27. 2. 10		19	
H27. 3. 10		19	
計	12回		

◇地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分な方の権利と財産を守ることを目的に、平成 11 年 10 月より開始した地域福祉権利擁護事業では、これまでに延べ 800 人を超える利用者の支援を行ってきました。平成 26 年度末の実契約者数は 289 人で、その内訳は、認知症高齢者が 173 人 (59.9%)、知的障害者が 63 人 (21.8%)、精神障害者が 50 人 (17.3%)、その他 3 人 (1.0%) となっています。

この事業は、判断能力が不十分な方を対象としている事業であることから、常に利用者の残存能力に配慮しながらサービスの提供を行うとともに、親族や関係機関との連携を密に取り、利用者を取り巻く支援ネットワークを築くよう心がけています。

その一方で、判断能力の著しい低下により、本事業で支えることが困難となった利用者については、親族、関係者に対して、成年後見制度への移行支援を行っています。今年度は、9 人の利用者が成年後見制度へ移行し、成年後見人等の支援のもと、安心した生活を送っています。

1 事業運営の適正化

- (1) 監視委員会の開催 (4 回)
- (2) 運用委員会の開催 (9 回)
- (3) 事業・会計監査の実施 (2 回) (対象者 344 人)
- (4) 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行 (1 回)
- (5) 福岡県運営適正化委員会による定期報告 (1 回)

2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加 (11 回)
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加 (6 回)
- (3) 北九州市障害者自立支援協議会・権利擁護部会への参加 (3 回)
- (4) 北九州市障害者施策推進協議会への参加 (1 回)
- (5) 法テラス北九州地方協議会への参加 (1 回)

3 職員資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催 (2 回)
第 2 回目は、「北九州市市民後見候補人」フォローアップ研修を聴講し、専門員・支援員合同研修会に充てた。
- (2) 専門員・支援員ブロック会議の開催 (1 回)
- (3) 専門性を高めるための研修会への参加 (3 回)

4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演の職員派遣 (10 回、参加者 310 人)
- (2) 事業説明会への職員派遣 (1 回、30 人)
- (3) らいとホームページの活用 (更新 12 回)

5 サービス内容

(1) 相談

ア 内容

相談内容	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス 支援団体	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
金 銭 管 理	17	40	13	15	51	12	59	1	2	19	32	0	8	269
財産保管・財産侵害	6	19	2	0	11	5	9	1	0	5	12	0	1	71
相 続 ・ 遺 言	5	5	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	13
福祉サービスへの苦情	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
日常生活の問題	6	8	2	0	3	1	5	0	0	1	1	0	3	30
福祉サービスの手続き	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
親 族 ・ 家 族 関 係	1	6	2	0	3	1	5	0	0	2	5	0	2	27
成年後見制度	9	10	2	2	1	2	4	1	2	1	1	0	5	40
その他（事業問合せ）	14	22	13	17	46	5	53	2	1	10	22	0	24	229
合 計	59	112	34	34	115	27	136	5	6	39	73	0	44	684

イ 対象者

相談の対象者	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	ホームレス 支援団体	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
認知症高齢者	17	48	11	26	47	3	77	0	1	14	18	0	6	268
障害者	身 体	1	1	0	0	3	0	2	0	0	2	0	0	9
	知 的	2	4	3	0	16	15	4	1	1	6	3	0	60
	精 神	7	8	3	0	9	2	5	0	0	3	13	0	52
難 病 患 者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
そ の 他	8	9	1	2	9	0	6	2	3	4	6	0	20	70
合 計	35	71	18	28	84	20	94	3	5	27	42	0	33	460

(2) 調査および調整

	認知症 高齢者	障害者			難病 患者	その他	合計
		身体	知的	精神			
調 査	1,081	2	113	162	0	28	1,386
調 整	5,268	15	2,504	2,434	0	11	10,232

(3) 他機関紹介

弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	消費生活センター	行政機関	介護支援事業者	施設	医療機関	その他	合計
0	2	0	0	4	0	0	0	28	34

(4) 契約

ア 契約締結件数及び人数

	認知症 高齢者	障害者			難病 患者	その他	合 計
		身 体	知 的	精 神			
前年度までの契約締結件数(A)	205	4	99	58	0	1	367
契約締結者数	166	2	70	48	0	1	287
財産保管	45	2	35	14	0	0	96
金銭管理・生活支援	160	2	64	44	0	1	271
本年度の契約締結件数(B)	57	0	10	6	0	0	73
契約締結者数	50	0	8	6	0	0	64
財産保管	7	0	3	1	0	0	11
金銭管理・生活支援	50	0	7	5	0	0	62
本年度の契約解除件数(C)	53	0	21	4	0	0	78
契約解除者数	43	0	15	4	0	0	62
財産保管	12	0	6	0	0	0	18
金銭管理・生活支援	41	0	15	4	0	0	60
本年度末の契約締結(A+B-C)	209	4	88	60	0	1	362
契約締結者数	173	2	63	50	0	1	289
財産保管	40	2	32	15	0	0	89
金銭管理・生活支援	169	2	56	45	0	1	273

イ 契約者の居住区

門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
27	98	47	31	29	38	19	289

ウ 解約理由

	認知症 高齢者	障 害 者			難病患者	その他	合 計
		身 体	知 的	精 神			
死 亡	22	0	6	1	0	0	29
市 外 へ 転 居	8	0	2	1	0	0	11
入 院 ・ 入 所	0	0	0	0	0	0	0
本 人 の 意 思	8	0	2	2	0	0	12
能 力 の 喪 失	0	0	0	0	0	0	0
管 理 の 移 管	5	0	5	0	0	0	10
合 計	43	0	15	4	0	0	62

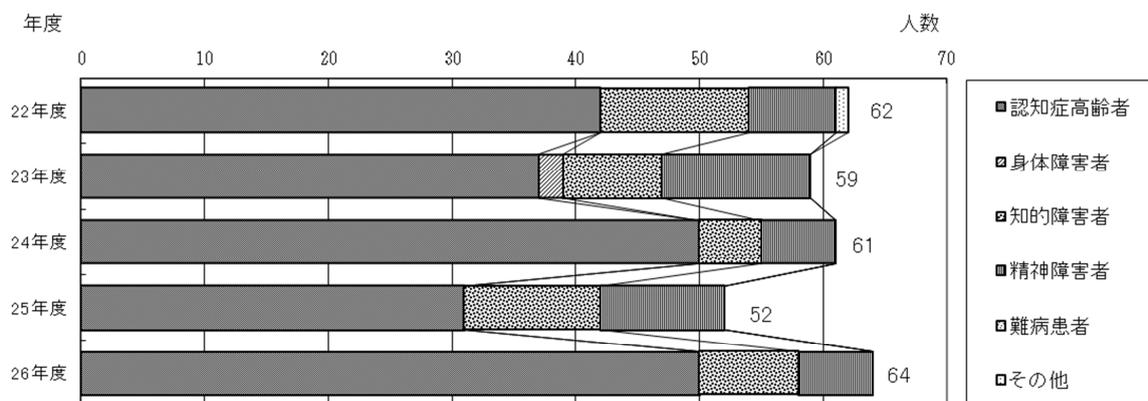
(5) サービスの実施状況

	認知症 高齢者	障害者			難病 患者	その 他	合 計	
		身 体	知 的	精 神				
財 産 保 管 サ ー ビ ス	60	0	77	57	0	0	194	
金 銭 管 理 サ ー ビ ス	2,565	25	1,412	1,000	0	23	5,025	
生活 支援 サー ビス	定期訪問による見守り	2,554	24	1,411	997	0	23	5,009
	諸手続きの同行・代行	26	0	2	5	0	0	33
	福祉サービス利用状況確認・情報提供・助言	1,813	2	517	590	0	13	2,935
	福祉サービスの利用手続きに関すること	30	0	3	1	0	0	34
	権利侵害を関係機関へ繋ぐ	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	7,048	51	3,422	2,650	0	59	13,230	

6 利用者の推移

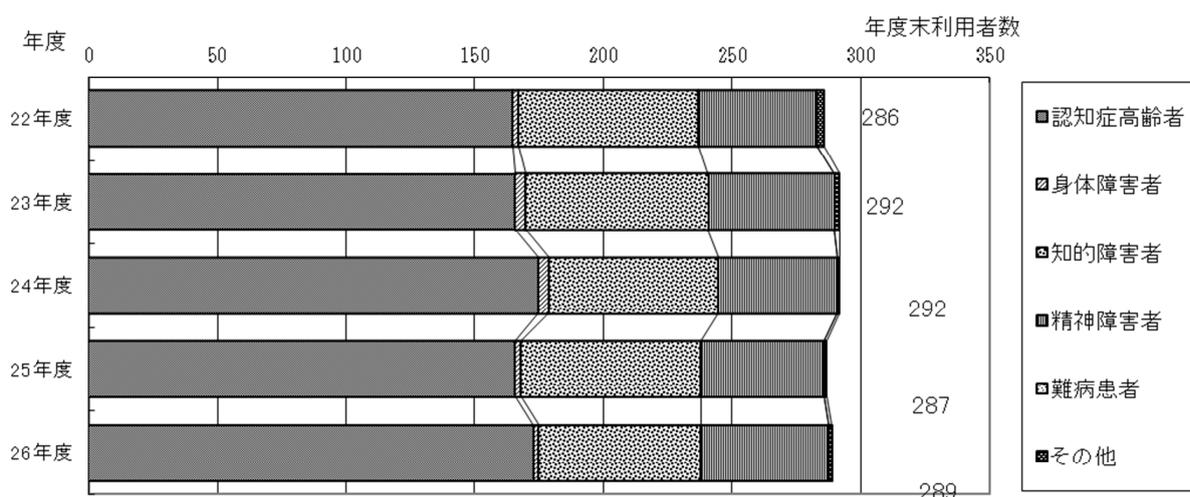
(1) 年度別契約成立者数の推移

	認知症 高齢者	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	難病患者	その他	計	前年度比
平成22年度	42	0	12	7	0	1	62	▲25 (29%減)
平成23年度	37	2	8	12	0	0	59	▲3 (5%減)
平成24年度	50	0	5	6	0	0	61	▲2 (3%増)
平成25年度	31	0	11	10	0	0	52	▲9 (15%減)
平成26年度	50	0	8	6	0	0	64	▲12 (23%増)



(2) 各年度末利用者実数の推移

	認知症 高齢者	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	難病患者	その他	計	前年度比
平成22年度	165	2	70	46	0	3	286	▲4 (2%減)
平成23年度	166	4	71	49	0	2	292	▲6 (2%増)
平成24年度	175	4	66	46	0	1	292	▲0 (0%増)
平成25年度	166	2	70	48	0	1	287	▲5 (2%減)
平成26年度	173	2	63	50	0	1	289	▲2 (1%増)



◇法人後見事業

本会が平成 21 年度より取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っています。今年度は、新たに 8 人を受任しましたが、5 人の被後見人死亡による終了があったため、平成 26 年 3 月末現在の受任件数は 51 人（成年被後見人 38 人、被保佐人 11 人、被補助人 2 人）となっています。

今後、成年後見制度の需要はますます高まることが予想され、その担い手不足が懸念される中、社会貢献意識の高い市民を活用した本会のこの取り組みは、全国的にも注目されており、今年度は行政や社会福祉協議会、NPO 法人等 8 団体からの視察を受入れたほか、他都市で開催される 3 つのフォーラム等へ講師の派遣を行いました。

厚生労働省が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

1 事業運営の適正化

- (1) 監視委員会の開催（4 回）《再掲》
- (2) 運用委員会の開催（9 回）《再掲》
- (3) 事業・会計監査の実施（2 回）《再掲》（対象者 55 人）

2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 九州成年後見センター理事会への参加（11 回）《再掲》
- (2) 九州成年後見センター業務監理委員会への参加（6 回）《再掲》
- (3) テラス北九州地方協議会への参加（1 回）《再掲》
- (4) 家事関係機関との連絡協議会への参加（福岡家庭裁判所小倉支部・1 回）
- (5) 市民後見人の個人受任に向けた検討会（9 回）

3 職員の資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催（2 回）《再掲》
- (2) 専門性を高めるための研修会等への参加（3 回）

4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演の職員派遣（10 回、参加者 310 人）《再掲》
- (2) 事業説明会への職員派遣（1 回、30 人）《再掲》
- (3) 他都市が開催する研修会等への講師派遣（3 回、参加者 800 人）
- (4) らいとホームページの活用（更新 12 回）《再掲》
- (5) 視察の受け入れ（8 回、視察者 15 人）

5 法人後見事業の受任状況

(1) 年度末受任状況

(51件：後見38件、保佐11件、補助2件)

(2) 月別新規受任状況

(単位：人)

		認知症		障害者			計			認知症		障害者			計				
		高齢者		知的	精神	身体				他	高齢者		知的	精神		身体	他		
4月	後見	1		1	0	0	0	2	10月	後見	0		0	0	0	0	0		
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	2		0	0	0	0	0	2	
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0	0	
5月	後見	0		0	0	0	0	0	11月	後見	0		0	0	0	0	0	0	
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0	0	
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0	0	
6月	後見	0		0	0	0	0	0	12月	後見	0		0	0	0	0	0	0	
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0	0	
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0	0	
7月	後見	1		0	0	0	0	1	1月	後見	0		0	0	0	0	0	0	
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0	0	
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0	0	
8月	後見	0		0	0	0	0	0	2月	後見	0		1	0	0	0	0	1	
	保佐	0		0	0	0	0	0		保佐	0		0	0	0	0	0	0	
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0	0	
9月	後見	1		0	0	0	0	1	3月	後見	0		0	0	0	0	0	0	
	保佐	0		0	1	0	0	1		保佐	0		0	0	0	0	0	0	
	補助	0		0	0	0	0	0		補助	0		0	0	0	0	0	0	
										計	後見	3		2	0	0	0	0	5
											保佐	2		0	1	0	0	0	3
											補助	0		0	0	0	0	0	0
											計	5		2	1	0	0	0	8

(3) 新規受任ケースの申立状況

(単位：人)

	後見			保佐			補助			合計
	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	
本人申立	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
親族申立	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
市長申立	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	4	1	0	2	1	0	0	0	8

(4) 年間活動回数 (1,338回)

(5) 後見報酬請求状況

請求人数	49人 (後見39人、保佐8人、補助2人)
金額	7,395,000円

◇社会貢献型市民後見人養成事業

認知症や障害により判断能力が不十分な人を法的に保護する「成年後見制度」の需要は年々増え、その担い手である後見人の不足が懸念されています。これまで、家庭裁判所から第三者後見人として選任されるのは、法律等の専門職が主流でしたが、近年、地域の支え合いのキーパーソンとして、本人に寄り添い支援する「市民後見人」が全国的に重要視されています。

北九州市では、平成19年度より社会貢献型「市民後見人」養成研修を開催しており、今年度は、11月に開催した講演会「市民が担う成年後見制度」の中で第7期の受講生を募集しました。その結果、11名の応募があったものの、うち1名の受講辞退により、10名が1月から開始した基礎研修に臨みました。基礎研修の全過程を修了した第7期生10名は、来年度に実施する実務研修へと進み、事例検討や施設実習などで後見活動のノウハウを習得していく予定です。

また、2月には、第1期生から第6期生までの修了生106名を対象としたフォローアップ研修を開催し、後見活動における被後見人の死後事務について理解を深めました。修了生106名のうち50名は、個人で市民後見人として活動することを希望しており、「北九州市市民後見人候補者名簿」に登録しています。

1 第7期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業 「基礎研修」

(1) 開催日 平成27年1月17日～平成27年3月14日

(2) 会場 ウェルとばた 会議室

(3) 参加者及び参加人数

社会貢献型市民後見人養成研修の受講を希望し、選考試験に合格した者 11名
(うち修了者10名)

(4) 研修内容

日時・会場		科目	内容	講師
平成27年 1月17日 (土) 83・84 会議室	9:30～9:45	オリエンテーション	・研修の趣旨、流れ など	事務局
	9:50～10:50	後見実施機関の実務(2)	・権利擁護・市民後見センターの概要	権利擁護・市民後見センター 次長 杉本 真奈美
	11:00～12:00	高齢者施策	・高齢者虐待防止法	保健福祉局高齢者支援課 在宅高齢者支援係 横田 江美
	13:00～14:00	高齢者の理解	・高齢者特有の病態	たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生
	14:10～15:10	認知症の理解	・認知症の種類と症状	たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生
	15:20～16:20	認知症への対応	・認知症サポーター養成講座	北九州市認知症サポーター キャラバンメイト 野村 美代子

1月31日 (土) 121・122 会議室	9:30～11:00	介護保険制度	・介護保険制度の概要	保健福祉局介護保険課 企画管理係長 田津 真一
	11:10～12:10	生活保護制度	・生活保護制度の概要	保健福祉局保護課 保護係長 野口 英之
	13:10～14:10	障害者を取りまく状況 (北九州市の障害者施策)	・北九州市の障害者の状況 ・障害者支援計画の概要	保健福祉局障害者福祉課 企画調整係長 足立 守行
	14:20～15:50	障害者施策	・障害者総合支援法 ・障害者虐待防止法	保健福祉局障害福祉課 障害者事業支援係長 山口 直行 発達障害担当係長 印 昭博
2月14日 (土) 83・84 会議室	9:30～10:30	精神障害者の理解	・精神障害者の障害特性 ・統合失調症、うつ病について	相談支援事業所「すてら」 事業所長 佐藤 みずほ
	10:40～11:40	精神障害者への支援	・精神障害者への支援の留意点	相談支援事業所「すてら」 事業所長 佐藤 みずほ
	13:00～14:00	民法の基礎(1)	・家族法について	平和通り法律事務所 弁護士 小鉢 由美
	14:10～15:10	民法の基礎(2)	・財産法について	平和通り法律事務所 弁護士 小鉢 由美
	15:20～16:20	消費者保護について	・消費者被害の現状 ・消費者の救済	消費生活センター 消費相談員 栗原 香織
2月28日 (土) 12HI 研修室	9:30～10:30	知的障害者の理解	・知的障害者の障害特性 ・発達障害について	障害福祉センター 心理士 大場 清隆
	10:40～11:40	知的障害者への支援	・知的障害者への支援の留意点	障害福祉センター 心理士 大場 清隆
	13:00～14:30	市民後見概論	・市民後見人としての社会規範 ・市民後見人の職務と役割	西南女学院大学 保健福祉学部 准教授 今村 浩司
	14:40～16:10	年金と医療保険	・年金と医療保険制度の概要	栗原社労士事務所 社会保険労務士 栗原 徳
3月14日 (土) 121・122 会議室	9:30～11:00	成年後見制度概論	・成年後見制度の概要 ・基本的な視点と法の理念	福岡家庭裁判所 小倉支部 主任家裁調査官 松尾 孝弘
	11:10～12:10	後見実施機関の実務(1)	・北九州成年後見センターの 概要	北九州成年後見センター 次長 安部 裕一
	13:10～14:10	成年後見制度各論	・法定後見制度と任意後見制度 ・代理権・同意権・取消権	清和法律事務所 弁護士 窪田 弥生

14:20～15:20	地域福祉・権利擁護の理念	・権利擁護について	清和法律事務所 弁護士 窪田 弥生
15:30～16:30	高齢者を取りまく状況 (北九州市の高齢者施策)	・北九州市の高齢者の状況 ・高齢者支援計画の概要	保健福祉局総務課 計画係長 安藤 卓雄

2 市民が担う成年後見制度～市民後見人を目指す人の講演会～

実施日	人員・会場	内 容
H26. 11. 3 (月・祝) 13:30 ～16:00	一般市民 56人 支援員 10人 ウェルとばた	第一部 ①講演 「地域で支える成年後見制度 ～市民後見人の必要性～」 講師：大分大学 教育福祉科学部 教授 衣笠 一茂 ②活動事例発表 発表者：権利擁護・市民後見センター 支援員 鈴木 勉 (第2期生) 第 二部 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業オリエン テーション

3 北九州市市民後見候補人フォローアップ研修

実施日	人員・会場	内 容
H27. 2. 28(土) 13:30 ～16:00	「北九州市市民 後見人養成研修 修了者」 68人 ウェルとばた	①講演 「死後事務に対する備えと考え方」 講師：ひびき法律事務所 弁護士 河原 一雅 ②「北九州市市民後見候補人」登録更新説明会

◇ボランティア振興事業

1 福祉教育事業

児童・生徒が将来、ボランティア・市民活動に積極的に参加する意識啓発の契機として、ボランティア活動を体験できる機会を提供するため、社会福祉協力校事業や夏休みボランティア体験学習事業を実施しています。特に、夏休みボランティア体験学習では、青少年ボランティアステーションとの協働のもと、社会福祉施設やイベント等のさまざまな形でボランティア活動を体験することで福祉の心を育てています。

(1) 社会福祉協力校の指定状況

区分	指定校数	指定	小学校	中学校	高等学校
小倉南	2	平成 24 年度	企救丘、新道寺		
八幡東	2	平成 24 年度	八幡	大蔵	
戸畑	1	平成 24 年度	鞆ヶ谷		
合計	5		4	1	0

(2) 社会福祉協力校指導者研修会（福祉教育セミナー）

実施日	人員・会場	内 容
H27. 2. 26	5 人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の福祉教育の取組みについて」 講師：ボランティア・市民活動センター 所長 江藤 みどり ・意見交換 ・事務説明

区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
指定校数	30	30	25	15	5
参加人数	20	27	25	15	5

(3) 2014 夏ボランティア体験学習事前研修会(青少年ボランティアステーションと共催)

実施日	人員・会場	内 容
H26. 7. 18 H26. 7. 21	635 人 ウェルとばた	(18日 17:00～) 「福祉って何？ボランティアって何？」 講師：Upple 代表 原水 敦 (21日 14:00～) 「社会福祉施設での活動について」 講師：ケアハウス好日苑 施設長 渡辺 大祐

(4) 2014 夏ボランティア体験学習

実施日	人員・会場	内 容
H26. 7. 29 ～ H26. 8. 22	市内各施設および 各イベント会場	3日間の体験学習 ・社会福祉施設体験 (635名) ・イベント参加等、その他の活動 (1,634名)
H26. 8. 9	48 人 ウェルとばた	・親子点字教室 (24組 48名)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
参加人数	1,698	1,956	1,894	2,088	2,317

2 ボランティアネットワーク事業

中間支援機関の定期的な連絡会を開催し、ボランティア・市民活動の推進役として、情報を共有するとともに、それぞれの専門性や特色を理解し、役割分担と連携を図りながら活動の幅を拡げてきました。

災害時ボランティアセンターの運営に際しては、的確な被災者ニーズの把握や、ボランティアによる迅速な支援が求められているため、当年度はスタッフの動きの再確認や問題点の抽出を目的とした「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」を実施し、関係行政機関との連携も相まって、施設設置や被災者支援の技術蓄積に資する取り組みとなりました。

(1) 市域に及ぶボランティア・市民活動団体ネットワークの構築

中間支援組織連絡会の開催

実施日	人員・会場	内 容
H26. 4. 9	14人 コムシティ	<ul style="list-style-type: none"> ・当会議の趣旨の再確認 ・各団体の紹介 ・平成26年度研修スケジュールの情報交換・情報共有
H26. 6. 4	10人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体情報交換 ・研修会予定計画 ・今後の連絡会への提案について
H26. 8. 6	10人 コムシティ	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体情報交換 ・北九州国際交流協会について
H26.10. 8	8人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体情報交換 ・その他
H26.12. 3	10人 コムシティ	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体情報交換 ・その他
H27. 2. 4	8人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体情報交換 ・その他

(2) 災害ボランティアリーダーの養成

ア 災害ボランティアのための勉強会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 5.10	23人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD鑑賞「生命(いのち)のことづけ」 ・災害ボランティア活動についての情報提供
H26. 7.26	22人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「鉄の絆：釜石とともに」 講師：北九州市・釜石デスク 復興支援統括官 高崎 聡 ・情報提供・意見交換など コーディネーター：NPO法人 ANGEL WINGS 理事長 藤澤 健児

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内 容
H27. 1. 17	51 人 年長者研修大学校 穴生学舎	①開会挨拶 災害ボランティアセンター立上げ準備進捗状況について オリエンテーション ②社協全体で取り組む災害ボランティアセンター ③災害ボランティアセンターの実際 ④設置・運営訓練に向けて 講師等： NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局長 李 仁鉄 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 福岡防災研究会 宮崎 雄輔
H27. 2. 11	77 人 ウエルとばた	①オリエンテーション ②災害ボランティアセンター設置訓練 ③災害ボランティアセンター運営訓練 ④振り返りと今後に向けての課題整理 講師等 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 福岡防災研究会 宮崎 雄輔

年 度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
回 数	3	5	1	1	4
延べ参加者数	141	193	29	15	173

3 在宅高齢者サービス事業

外出・移動手段の不便や困難を解決するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な大工仕事や家電品の修理を中心とした自力では対応が困難な困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しています。

(1) シルバーひまわりサービス事業

事業開始後20年を経過し活動者の高齢化が進んでおり、運転ボランティアの確保が課題となっています。企業・団体への働きかけなど、新規活動者の掘り起こしに努めています。

(2) 腕自慢おまかせサービス事業

この事業は、企業、消防団、個人等の協力により、市民のニーズに対応しています。今後、活動者を全市的に確保し、各区においてコーディネートする等、地域に密着した事業への発展を目指しています。

<シルバーひまわりサービス事業>

ア ボランティア実働人員

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	22	17	24	19	16	27	24	18	27	16	21	17	248
行政職員	9	17	18	21	30	23	38	32	32	29	31	23	303
企業・市民	200	200	212	214	205	215	228	224	222	199	206	215	2,540
社協職員	8	13	11	13	14	10	12	10	17	11	10	7	136
合 計	239	247	265	267	265	275	302	284	298	255	268	262	3,227

年 度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実働人員	3,043	3,164	3,266	2,791	3,227

イ ボランティア実働回数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	30	26	31	26	26	32	35	25	31	20	25	24	331
行政職員	16	28	28	35	47	29	46	43	41	33	38	30	414
企業・市民	630	579	619	675	649	671	718	642	634	555	583	584	7,539
社協職員	15	17	18	18	22	14	17	14	22	18	16	12	203
合 計	691	650	696	754	744	746	816	724	728	626	662	650	8,487

年 度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実働回数	7,220	7,763	8,455	7,014	8,487

ウ 目的別利用件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通院・お見舞い	267	239	257	285	267	273	303	271	256	239	249	232	3,138
福祉施設入所 及び利用	6	4	2	0	7	6	8	5	5	5	3	2	53
買物・食事	81	82	85	94	109	96	113	109	112	88	81	90	1,140
理髪・入浴	5	2	6	4	7	3	7	5	6	5	5	7	62
観光・公共施設 利用	28	35	48	40	49	39	56	37	44	29	37	59	501
合 計	387	362	398	423	439	417	487	427	423	366	375	390	4,894

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用件数	4,131	4,543	5,168	5,451	4,894

エ 連絡調整会議

実施日	人員・会場	内 容
H26. 6. 5	5人 連合福岡・北 九州地域協議 会会議室	・平成 25 年度実施状況について ・成果及び課題について

<腕自慢おまかせサービス事業>

ア 活動内容別実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大工(棚製作等)	2	1	0	6	1	0	2	0	0	1	0	0	13
窓、戸等の修繕	0	0	0	2	0	1	2	2	0	0	0	0	7
家具の移動等	0	1	1	0	2	2	0	0	0	1	0	0	7
包丁、鋏とぎ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
除草、庭木剪定	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
清 掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気系統修理	0	1	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	6
水道系統修理	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	6	3	2	2	2	7	1	1	0	3	2	29
計	2	10	4	10	7	6	13	4	3	2	3	2	66

年 度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
実施件数	104	98	171	83	66

4 地域福祉活動支援事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」への助成を年間を通じ行っています。地域福祉研修活動についても、ボランティアグループを通して広く情報提供するとともに、研修参加費を助成することによって全国レベルでの研修会の参加機会を提供することができました。

また、ホームページ等通じて活動助成金などの情報を広く提供しています。

(1) ボランティア活動保険加入掛金助成事業

取扱件数			加入者数	助成金額 (円)
団体加入		個人加入		
グループ数	人員	人員		
679	22,219	161	22,380	2,238,000

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
加入者数	22,467	22,892	22,315	22,926	22,380

(2) 地域福祉研修活動助成

1	研修名	第23回全国ボランティアフェスティバルぎふ
	期日・会場	平成26年9月27日(土)・28日(日) 岐阜県岐阜市
	参加者	高原 由美 (NPO法人通院介護センターさわやか八幡事業所) 古場 ミチ子 (傾聴ボランティア「リスの会」)
助成金額		@42,000×2名=84,000円
2	研修名	全国ボランティアコーディネーター研究集会2015大阪
	期日・会場	平成27年2月28日(土)～3月1日(日) 大阪府大阪市
	参加者	貞谷 希望 (NPO法人通院介護センターさわやか小倉事業所)
助成金額		41,000円

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
国内 研修	対象者数	3	3	1	2	3
	助成金額	81,000	150,000	43,000	80,000	125,000

5 高齢者いきがい活動支援事業

高齢者のみなさんの社会参加やいきがいづくりを促進するために、参加しやすいボランティア、生涯学習、仲間づくりの情報を総合的に収集・提供する場として、「高齢者いきがい活動情報ステーション」を開設しています。

ホームページ上に情報を掲載しているため、パソコンをお持ちの方はご家庭で気軽に情報を得ることができ、パソコンのない方は、市・各区社協ボランティア・市民活動センターで情報を得ることができます。

3月末までの活動状況は、登録団体96団体、述べ登録情報121件、総検索数16,321件となっており、情報がほしい方にも、情報を伝えたい方にも好評をいただき、高齢者のいきがい活動につながり始めています。

(1) 総閲覧件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	1,227	1,289	1,276	1,320	1,505	1,550	1,812	1,441	1,163	1,324	1,342	1,072	16,321

(2) 年度末時点での登録団体件数

区分	ボランティア (1)	生涯学習 (2)	仲間づくり (3)	延べ数 (1)+(2)+(3)	実数
門司	6	4	4	14	7
小倉北	18	17	17	52	38
小倉南	11	3	6	20	14
若松	3	2	2	7	3
八幡東	5	3	2	10	6
八幡西	9	10	5	24	13
戸畑	9	3	5	17	13
市外	1	2	1	4	2
計	62	44	42	148	96

(3) 承認情報件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ボランティア	2	0	1	2	2	1	0	1	0	1	0	0	10
生涯学習講座	7	5	6	0	12	12	22	5	9	5	3	4	90
仲間づくり	0	0	0	1	2	3	1	3	2	3	4	2	21
計	9	5	7	3	16	16	23	9	11	9	7	6	121

(4) 情報閲覧件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ボランティア	310	215	237	348	371	388	219	204	114	191	254	144	2,995
生涯学習講座	390	742	388	153	727	798	2,284	961	699	451	545	308	8,446
仲間づくり	127	122	123	186	228	382	146	298	193	363	441	263	2,872
計	827	1,079	748	687	1,326	1,568	2,649	1,463	1,006	1,005	1,240	715	14,313

6 介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成25年度から実施しています。

65歳以上の北九州市民（介護保険第1号被保険者）が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州地域福祉振興基金（ひまわり基金）に寄付をすることができます。

平成27年3月末現在のボランティア登録数は1,386人、受入施設数は235施設に及び、活動者の生きがいづくりに留まらず、新たなボランティアの掘り起こしにつながりました。

また、ボランティア活動の内容も多岐にわたり、延べ回数は15,184回に上っています。

(1) 受入施設登録状況（平成27年3月31日現在）

ア 登録施設 235施設

イ 施設の種類の種類（併設を含む）

施設の種類の種類	施設数	施設の種類の種類	施設数
介護老人福祉施設	31	通所介護	111
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	10	通所リハビリテーション	14
介護老人保健施設	16	認知症対応型通所介護	11
介護療養型医療施設	2	短期入所生活介護	32
特定施設入居者生活介護	20	複合型サービス	1
認知症対応型共同生活介護	50		
小規模多機能型居宅介護	22	合 計	320

(2) ボランティア登録状況 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

(人)

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	合計
男	80	110	64	33	6	293
女	316	412	238	101	26	1,093
合計	396	522	302	134	32	1,386

(3) 平成 26 年度ボランティア活動者・受入施設の登録数

年 月	ボランティア活動者			受入施設		
	新規登録	退会	変更	新規登録	退会	変更
H26. 4	33	0	2	4	1	0
H26. 5	67	4	2	5	0	0
H26. 6	12	0	2	8	0	1
H26. 7	18	0	0	3	0	1
H26. 8	38	0	3	2	0	2
H26. 9	14	0	1	4	2	0
H26.10	20	0	4	1	0	2
H26.11	13	0	0	1	0	0
H26.12	13	2	1	3	0	3
H27. 1	5	3	7	1	1	0
H27. 2	43	11	2	2	0	2
H27. 3	30	2	2	1	0	3
合計	306	22	26	35	4	14

(4) 換金・寄付申請状況 (平成 26 年 12 月末現在)

	換 金	寄 付 (ひまわり基金)	換金・寄付 (ひまわり基金)	合 計
件 数	521	129	45	695
金 額	1,701,000	257,800	換金 124,500 寄付 55,700	2,139,000

※ボランティア活動実施者数 (1 回以上の活動者数) 810 人 (平成 26 年 1～12 月)
 ボランティア活動延活動回数 15,381 回 (平成 26 年 1～12 月)

(5) 内容別ボランティア活動状況 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション (趣味活動) 等の補助	4,474
②芸能等の披露	1,637
③話し相手	2,265
④行事の手伝い	572
⑤食事介助の補助 (お茶出し・配膳・下膳等)	519
⑥掃除・衣類整理の補助	2,678
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	148
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	2,891
合 計	15,184

7 市民ふれあいフェスティバル事業

全市的なボランティアの集いのイベントとして、各区社協ボランティア・市民活動センターとの共催のもと、実行委員会形式によりテーマを決定し、委員の企画・進行により開催しています。

今年度は、来年、市社協創立 50 周年を迎えることから「北九州市社会福祉大会」と共同で開催したことにより 4,648 名のボランティア活動者・市民の参加を得ました。また、「災害を忘れない」をテーマとした全体会では、被災者に心を寄せる大切さをあらためて分かち合うとともに、災害を見つめ直し、災害ボランティア活動を中心に私たちにできることを考える機会となりました。

福祉のこころを育む取り組みとして、昨年度より始めた福祉疑似体験・車両展示コーナーでは、地域企業・団体の協力を得て新たにスタンプラリーを行い、444 名の方に体験していただきました。

<実行委員会>

実施日	人員・会場	内 容
H26. 6. 13	18 人 ウエルとばた	・正・副委員長の選任について ・実行委員会の取り組みについて ・平成 26 年度の実施内容について
H26. 8. 6	12 人 ウエルとばた	・全体会の経過報告について ・イベント等の経過報告について ・役割分担について ・今後のスケジュールについて
H26. 10. 24	13 人 ウエルとばた	・役割分担について ・イベント等の経過報告 (最終案) について
H26. 12. 17	12 人 ウエルとばた	・事業報告について ・次年度への課題及び内容について

＜催事内容＞

実施日	人員・会場	内 容
H26. 11. 16	4,648人 ウェルとばた および周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会「災害を忘れない」 ○演題：～釜石からのメッセージとミニコンサート～ メッセージ： 岩手県釜石市社会福祉協議会 地域福祉課長 菊池 亮 コンサート： クラリネット 前野 美千代 キーボード 栗山 かなえ コーディネーター： NPO法人 ANGEL WINGS 理事長 藤澤 健児 ○非常時の各家庭での準備品展示 ○東日本大震災被災地支援 <ul style="list-style-type: none"> ・募金活動（釜石市社協へ 33,097 円） ・被災地特産品バザー ・活動紹介、パネル展示 ・活動支援バザー ・多世代交流 ・ステージでのボランティアグループ・市民活動団体による演舞等の発表会 ・車いす寄贈式典 ・福祉車両体験 ・福祉疑似体験（車いす・アイマスク・高齢者・妊産婦）

年度	名 称	内 容	場所	参加人数
平成22年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、送迎車両贈呈式	戸畑	4,307
平成23年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、送迎車両贈呈式	戸畑	4,153
平成24年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、送迎車両贈呈式	戸畑	4,193
平成25年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,773
平成26年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,648

8 ボランティア育成・啓発事業

市民に、ボランティア活動をはじめのきっかけを提供し、またより深い理解をしてもらうため、さまざまな啓発資料を作成しています。

＜啓発資料の作成＞

発行時期	資 料 名	発 行 部 数
H27. 2	社会福祉協力校指定事業報告書	45 部
H27. 2	ボランティアグループ名簿 2014 年度	600 部

◇社会福祉ボランティア大学校事業

北九州市社会福祉ボランティア大学校では、北九州市地域福祉計画「北九州市の地域福祉2011～2020」や本会の「北九州市地域福祉活動 第四次計画～住民ふくしの元気プラン～」をより推進させるため、地域コミュニティに福祉の視点で取り組む人材育成を目指し、研修の再構築と既存事業の充実を図りました。

特に今年度の研修は、これまでの校(地)区社協個別研修と地域支援ボランティア研修を整理・再編成し「ふくしのまちづくり講座」とし、地域の課題解決と新たな人材の獲得を目標に、校(地)区単位で地域の方と一緒に企画・運営することで、地域の特性を生かし「災害」や「認知症」「健康」に特化した実践型の研修に力を入れ開催しました。

頻発する自然災害により住民の関心が高い地域防災・減災をテーマとした講座では、「私にもできる災害ボランティア入門講座」や「災害ボランティア・フォローアップ研修」はもとより、地域コミュニティ再生に取り組むための「まちづくりゼミナール」等でも、様々な事例発表や討議、「助け上手」や「助けられ上手」をみんなで考えるワークショップ（参加型研修）などの研修手法により、災害にも強いまちづくり・人づくりを進めました。

また、「傾聴ボランティア養成講座」では、心をこめて「聴く」ことで、人の心を癒すことができる研修として実技を交え「聴き上手」になるためのコツを学び、相手の心に寄り添えるボランティアの養成を行いました。その後の「傾聴ボランティア・フォローアップ研修」では、活動者が日頃の活動の中で抱える課題や疑問について、活動者同士の交流や受入れ施設が期待することを改めて学ぶことで、活動の活性化を図りました。

複雑多様化する福祉課題に対してボランティア・市民活動への期待や関心が高まるなか、ボランティア活動や地域福祉活動の裾野を広げより充実した活動となるよう、新たな出会いと関係機関・団体との緊密な連携のもと、「市民一人ひとりがきずなを結び 共に支え合う地域福祉のまちづくり」に努めています。

1 研修体系の区別研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

研修名	受講者	開催回数	1回開催日数	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	152	6～8
ふくしのまちづくり講座	校区住民	7	3	21	926	10～3

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

研修名		受講者	開催回数	1回開催日数	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	8	1	8	495	6～9
現任者	現任福祉協力員等研修	現任福祉協力員等	7	1	7	482	9～2
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	75	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	1	1	1	418	2
	校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	98	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	5	5	186	8～12

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

研修名		受講者	開催回数	1回開催日数	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	私にもできる災害ボランティア入門講座	市民	1	1	1	51	8
	傾聴ボランティア養成講座	市民	1	3	3	57	7～8
	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体で運転協力者になることを希望する者	3	2	6	79	6～3
活動者	災害ボランティア・フォローアップ研修	災害V.O.入門講座受講者等	1	1	1	28	9
	ボランティア活動者研修	ボランティア活動者	1	1	1	33	12
	傾聴ボランティア・フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	29	5
リーダー	ボランティア・リーダー研修	リーダー次期リーダー	1	1	1	28	11

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

研修名	受講者	開催回数	1回開催日数	延開催日数	延参加人数	開催月
企業のための社会貢献活動セミナー	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	18	3

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

研修名	受講者	開催回数	1回開催日数	延開催日数	延参加人数	開催月
実務者 ボランティア・コーディネーター研修	社会福祉施設等でボランティアコーディネーションを担当する職員	1	2	2	47	11

(6) その他研修(共催実施・企画支援)

研修名	受講者	開催回数	1回開催日数	延開催日数	延参加人数	開催月
市民センター館長等研修会 選択①	市民センター館長	1	1	1	49	7

2 資料作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひとコーナー」 (『きたきゅうしゅう市社協だより』掲載)	172,000部	平成26年5月1日・8月1日 11月1日・平成27年1月15日
事業報告書	350部	平成26年5月1日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	平成26年5月1日

3 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成23年度	3	12	361
平成24年度	9	27	794
平成25年度	8	26	1,097
平成26年度	8	26	1,078

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 23 年度	34	54	2,246
平成 24 年度	28	32	1,631
平成 25 年度	27	31	1,729
平成 26 年度	19	23	1,754

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 23 年度	8	15	254
平成 24 年度	8	15	239
平成 25 年度	10	17	352
平成 26 年度	9	14	305

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 23 年度	3	3	250
平成 24 年度	3	3	230
平成 25 年度	4	4	134
平成 26 年度	1	1	18

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 23 年度	2	3	82
平成 24 年度	2	3	61
平成 25 年度	2	3	92
平成 26 年度	1	2	47

◇北九州シニアネットワークアカデミー事業

1 周望学舎事業

周望学舎は「宿泊のできる年長者の研修施設」という要望に応じて、高齢者の生きがい対策と生涯学習という二つの性格を併せ持つ、元気な高齢者を対象とした施設として、全国に先駆けて昭和54年8月に設置されました。

発足当初は、老人クラブ指導者養成から趣味活動支援としての実技指導、さらに高齢者の生きがいづくりを主とした研修内容としていましたが、近年は地域活動・地域貢献をめざす人材養成と活動者育成にも力を注いでいます。

平成26年度の研修では、地域や社会福祉施設等でのボランティア体験等を実施するとともに、地域福祉活動の必要性を理解するための講座の充実に努め、全コースで認知症サポーター養成講座、地域・ボランティア活動に関する講義を行いました。

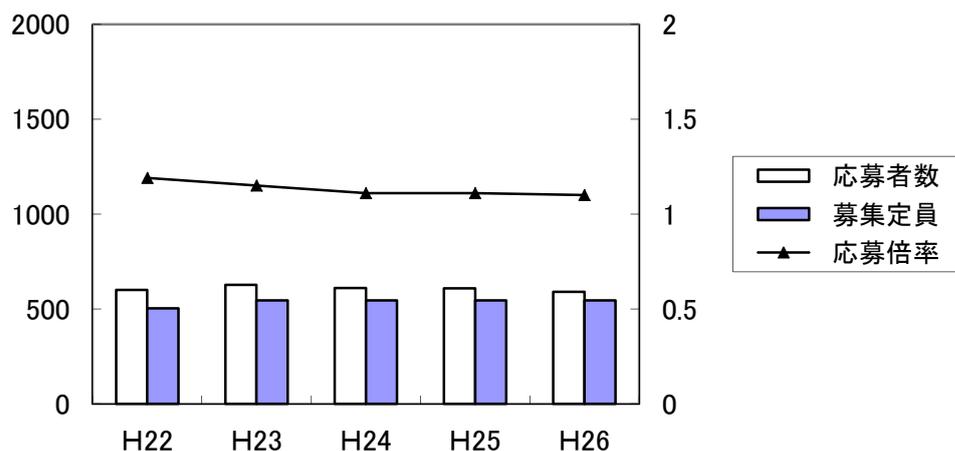
なお、多数の学舎行事や講座を健康マイレージ事業に登録し、健康づくりの推進に努めました。

また、第3期指定管理者として、「学び・体験で創る新たなライフプラン」ができる学習体系の確立と、修了生が地域福祉活動へ参加できる仕組みづくりを積極的に推進しました。

(1) 応募状況の推移

【応募者数・応募倍率等の推移】

(年間コース)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
新 人	男	103	64	63	63	40
	女	121	56	75	74	66
経験者	男	184	221	215	215	216
	女	193	286	258	257	268
合 計		601	627	611	609	590
定 員		504	546	546	546	546
応募倍率		1.19	1.15	1.12	1.12	1.08



(2) 研修生等(利用者)の推移

ア 全体的な傾向

年間コース利用者についてはカリキュラム数の変更などにより延べ 18,805 人となりました。また、研究クラブは研修室の空き等を有効に活用し、実技コースでの学びをさらに充実させています。

分類		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
年間 コース	コース数	16	16	16	16	15
	研修生数(延べ)	19,283	20,927	20,100	20,941	18,805
研究 クラブ	グループ数	3	3	3	3	2
	利用者数(延べ)	1,378	3,310	1,263	2,437	1,421
同好会	グループ数	11	4	4	5	6
	利用者数(延べ)	856	191	890	1,133	1,558

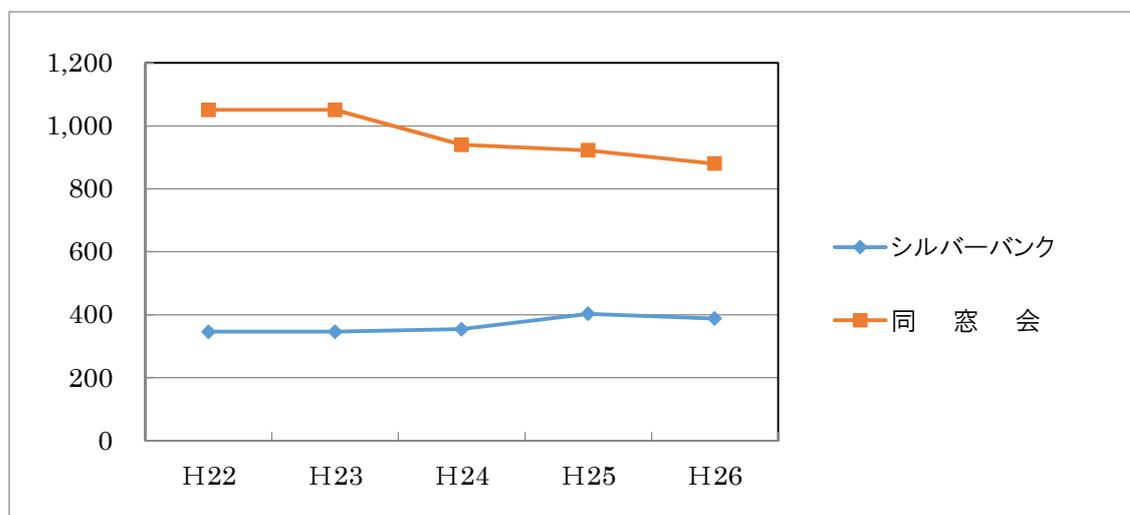
施設年間利用状況	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用者数(延べ)	34,881	32,557	32,476	35,067	32,106

イ 修了生組織の活動状況

周望学舎修了生の組織として、開校の翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーバンク」と平成 4 年 4 月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーバンク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代との交流など多彩な活動を続けています。

会員数	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成 25 年度	平成 26 年度
シルバーバンク	346	327	354	403	388
同 窓 会	1,051	950	940	922	880



(3) 平成26年度研修実施状況

コース名		修了者数	利用者数(延べ)			研修回数		
			男	女	計	日帰り	宿泊	計
年間	地域ふれあい	29	532	590	1,122	39	2	41
	心と身体の健康	29	262	829	1,091	39	2	41
	健康づくりサポーター	41	747	781	1,528	39	2	41
	国際情報	41	679	858	1,537	39	2	41
	アジアを学ぶ	40	640	833	1,473	39	2	41
	ふるさとの文化	41	763	705	1,468	39	2	41
	生活情報	41	638	804	1,442	38	2	40
	歴史に学ぶ	40	725	750	1,475	39	2	41
	暮らしと環境	42	548	975	1,523	39	2	41
	健康管理	40	757	735	1,492	39	2	41
	社交ダンス入門	24	270	611	881	39	2	41
	花と野菜づくり	27	386	545	931	39	2	41
	写真入門	32	718	486	1,204	39	2	41
	陶芸	20	269	518	787	39	2	41
	書道入門	21	322	529	851	39	2	41
	計①	508	8,256	10,549	18,805	584	30	614
	委員会・諸会議 ②		332	203	535	21	0	21
	小計 ①+②=③		8,588	10,752	19,340	605	30	635
ワード初級		165	210	375	24	0	24	
ワード中級		134	135	269	12	0	12	
エクセル初級		107	162	269	12	0	12	
デジカメ入門		179	137	316	24	0	24	
デジカメ活用		189	116	305	24	0	24	
スマートフォン		37	48	85	10	0	10	
ウィンドウズ		141	221	362	20	0	20	
インターネット		98	153	251	12	0	12	
年賀状		57	124	181	10	0	10	
絵手紙		0	45	45	5	0	5	
一日体験		15	24	39	1	0	1	
法律講座		8	30	38	5	0	5	
シニアカレッジ(西南女学院)		91	294	385	10	0	10	
シニアカレッジ(東筑紫)		86	333	419	10	0	10	
シニアカレッジ(北九州大)		105	198	303	6	0	6	
年長者と孫の集い		20	15	35	0	1	1	
小計④		1,432	2,245	3,677	185	1	186	
研究クラブ	写真		323	202	525	19	0	19
	社交ダンス		384	512	896	28	0	28
	小計⑤		707	714	1,421	47	0	47
シルバーク		1,011	1,754	2,765	367	0	367	
同窓会		433	653	1,086	221	0	221	
同好会		766	792	1,558	134	0	134	

		利用者数(延べ)			研修回数		
		男	女	計	日帰り	宿泊	計
修了生	パソコンボランティア	205	127	332	132	0	132
	園芸ボランティア	248	406	654	36	0	36
	健康ボランティア	252	198	450	48	0	48
	小計⑥	2,915	3,930	6,845	938	0	938
穴生学舎		161	162	323	1	15	16
その他		294	206	500	51	0	51
小計⑦		455	368	823	52	15	67
総合計(③+④+⑤+⑥+⑦)		14,097	18,009	32,106	1,827	46	1,873

(4) 周望学舎年間行事等

ア 入学記念講演会

月・日	人員・会場	内 容
H26. 4. 4	467人 八幡市民会館	記念講演 「私と社会を発見する学びの旅へ」 九州大学大学院人間環境研究院 准教授 岡 幸江

イ スポーツ大会(周望学舎 35 周年記念事業)

月・日	人員・会場	内 容
H26. 6. 27	512人 総合体育館	入場行進・競技「仲良しリレー」、「大玉おくり」、 「炭坑節」等・閉会式

ウ 大学祭(周望学舎 35 周年記念事業)

月・日	人員・会場	内 容
H26. 10. 4 ～ H26. 10. 5	研修生延べ 1,058人 一般来場者 127名 周望学舎	開会式・学習成果を生かした展示、体験コーナー、 講談師神田紅による講談会、研修生による演芸大 会、ウォークラリー、出店、社交ダンスパーティ ー等・閉会式

エ 修学旅行

月・日	人員・会場	内 容
H26. 11. 13 ～ H26. 11. 21	研修生延べ 389人 平戸市	3便に分かれ1泊2日で実施 長崎県平戸市他(梅ヶ枝酒造、無窮洞、浦頭引揚 記念平和公園、海上自衛隊佐世保資料館等)

オ 修了記念作品展(実技コース・研究クラブ)

月・日	人員・会場	内 容
H27. 2. 4 ～ H27. 2. 10	639人 北九州芸術劇場 市民ギャラリー	陶芸、書道、写真 学習成果発表 合計 116点展示

カ 年長者と孫のつどい

月・日	人員・会場	内 容
H26. 8. 7 ～ H26. 8. 8	35人 周望学舎	南小倉児童館児童も参加し、周望学舎シルバーバンクによる折り紙、お手玉、竹馬等の昔遊びを通じた異世代交流やニューススポーツ体験等 青少年ボランティアステーションの協力により高校生ボランティアも12名参加

キ シニアカレッジ（大学活用型校外授業）

月・日	人員・会場	内 容
H26. 7. 18 ～ H26. 9. 26	45人 西南女学院	「医療と倫理について」、「人間関係を潤す傾聴スキル」、「障害児、者の歩み」等、計10回 (延べ350人)
H26. 9. 10 ～ H26. 11. 19	47人 東筑紫学園	「ちょっとした工夫でソフト食作り」、「これからの人生七転び八起き」、「ファッションの可能性」等、計10回 (延べ419人)
H26. 8. 23 ～ H26. 10. 4	66人 北九州市立大	「日中食文化比較～薬草について」、「教養のアメリカ文学」、「現代コント進化論」等、計6回 (延べ303人)

ク 一日体験入学

月・日	人員・会場	内 容
H27. 2. 3	39人 周望学舎	学舎案内および館内見学 講義「吉田松陰について」、「健康づくりと楽しいレクリエーション」

ケ 大学との交流事業

月・日	人員・会場	内 容
H26. 6. 19	15人 北九州市立大	学生との交流 フォークダンス、卓球等

コ 視察・見学

月・日	人員	団 体 名
H26. 4. 28	5人	北九州市保健福祉局長
H26. 5. 21	46人	北九州市立南小倉小学校3年生

サ 実習生受け入れ

月・日	人員	団 体 名
H26. 10. 15 H26. 10. 16 H26. 10. 24	50人	西日本看護専門学校

シ 国立博物館バスツアー

月・日	人員	内 容
H26. 11. 19 H26. 11. 21	58人	周望学舎スクールバスを使用し、日帰りで国立博物館（故宮展）の見学を行う

(5) 資 料

資 料 名	発行部数	発行日
香梅(平成 26 年度年間コース修了記念アルバム)	495 部	平成 27 年 2 月 9 日

(6) 広 報

資 料 名	発行部数	発行回数
研修生の手作り学舎新聞およびかわら版	2,000 部 1,800 部	新聞：1 回／年 かわら版：3 回／年
学舎案内	1,000 部	1 回／年

(7) コース委員長会議（15コース）

月・日	人員・会場	内 容
H26. 5. 12	委員27人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> ■正副代表選出について ■自家用車通学と交通安全ボランティアについて ■周望学舎三大行事日程について ■平成 26 年度学舎運営について
H26. 9. 19	委員24人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> ■連絡事項 (1) 大学祭 (2) 修学旅行 (3) 消防訓練 ■後期授業料納付について
H27. 1. 29	委員25人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> ■連絡事項 (1) 修了式 (2) 修了証書 (3) 修了記念作品展 (4) 「香梅」 (5) 修了アンケート

(8) 各種会議（三大行事等）（会場：周望学舎）

会議名	人員(延べ)	回 数
大学祭実行委員会	研修生・クラブ生160人	5回
スポーツ大会実行委員会	研修生 102 人	4 回
修学旅行実行委員会	研修生 100 人	4 回
新聞編集委員会	研修生 75 人	3 回
作品展実行委員会	研修・クラブ生 22 人	2 回

(9) バスの運行

研修生送迎の他、全コースの校外授業においてスクールバスを活用し 945 回、1,133 時間の運行を行いました。

(10) 周望学舎同窓会

ア 会員数 880 名

イ 支部活動

支 部 名				
門司支部	小倉北支部	小倉南支部	戸畑・若松支部	八幡支部
154 人	261 人	298 人	89 人	78 人
<活動内容>				
・ 会員相互の親睦(総会、一泊旅行・日帰りバスハイク・クリスマスの集い)				
・ 売店活動(支部活動)				
・ 支部総会(懇親会)				
・ 健康づくり(歩こう会・登山・ボーリング、グラウンドゴルフ大会)				
・ ボランティア活動・同窓会新聞の発行 等				

ウ 記念講演会

月・日	人員・会場	内 容
H26. 4. 19	131 人 ウエルとばた 多目的ホール	テーマ 「まさか私が騙されるなんて!？」 北九州市立消費生活センター 主任消費生活相談員 島崎 裕子

エ 広報誌

	発行部数	発行回数
周望同窓会新聞「ふれあい」	2,200 部	2 回/年

(11) 周望学舎シルバーバンク

ア 会員数 18 サークル
預託会員 166 人
賛助会員 222 人

イ 支部活動

支 部 名	会 合 場 所
小倉東支部	足立市民センター
小倉西支部	南小倉市民センター
小倉南支部	小倉南生涯学習センター
若 松支部	若松市民センター
八 幡支部	八幡東区社会福祉センター
戸 畑支部	市社協ボランティア・市民活動センター

ウ サークル活動

	サークル名	会員数	主な活動の内容	主な活動場所および活動日
伝承グループ	創作折り紙	25	福祉施設、児童館、小学校等での伝承活動及び折り紙研究	周望学舎、デイケア施設 折り紙A (毎月第2,4水曜) 折り紙B (毎月第1,3金曜)
	お手玉	10	お手玉の作り方、遊び方の伝承	福祉施設等 (毎月第3水曜)
	竹の会	16	竹細工、竹トンボ、竹笛 水鉄砲等作り方・遊び方の伝承	市民センター、イベント会場等 (不定期)
	読み聞かせ	6	福祉施設で本の読み聞かせ・紙芝居等	子育てふれあい交流プラザ (毎週木曜) その他施設等
	昔遊び	6	竹馬、コマ廻し、皿廻し等の昔遊びの伝承	市民センター、イベント会場等 (不定期)
友愛グループ	椿会	1	特別養護老人ホームでの生け花の指導・洗濯物の整理等	シルバーサンホーム (第2・4水曜午後)
	見守り介護	4	障害者見守り、話し相手	戸畑障害者活動センター (第2・4木曜)
	マジック	1	福祉施設訪問 マジック披露	福祉施設、イベント会場 (不定期)
	ハーモニカ	17	福祉施設訪問・ハーモニカ披露	福祉施設、イベント会場 (第1・2・3木曜)
	遊書会	5	福祉施設に於いて習字指導	福祉施設、シティホーム、 (毎月第3木曜)
	シルバーサービス	1	在宅高齢者宅での(日曜大工的な)簡易修理、草刈、剪定	各地域(不定期)
	すみれ会	8	福祉施設訪問 フラダンス実演	イベント会場、施設等 (研修日 毎週月曜)
	よさこいアレンジ	20	福祉施設訪問 よさこい踊り実演	福祉施設、イベント会場 (研修日 毎週金曜)
	周和会	11	福祉施設訪問 日本舞踊実演	福祉施設、イベント会場 (研修日 毎週火・金曜)
子育て支援	16	託児スタッフ	市民センター、イベント会場等 (不定期)	
その他	バラの会	8	趣味の手芸で相互の親睦 (作品はイベントに提供)	周望学舎(毎週金曜)
	収集	29	主にプルタブ収集を通して施設に車椅子を贈る活動	周望学舎 小倉北区社協ボランティア・市民活動センター(不定期)
	編集	9	会報紙(バンクだより)の編集、発行(年1回)	周望学舎(不定期)

※各サークル重複在籍者あり。

エ サークル活動・活動人員

(ア) 友愛活動	延べ	1,776人
(イ) 調査研究活動	延べ	232人
(ウ) ボランティア養成研修	延べ	2,600人
(エ) 伝承活動	延べ	288人
(オ) その他の活動	延べ	25人

オ 預託会員研修

月・日	会 場	内 容
H27. 3. 25	周望学舎 山田緑地	小倉南区のまちづくり、脳卒中を知ろう、 グランドゴルフ

カ 広報

資 料 名	発行部数	発行回数
会報紙「シルバーバンクだより」	1,114 部	1 回／年

(12) 研究クラブ、同好会活動

ア 会員数	研究クラブ	2 クラブ	66 人
	同好会	6 サークル	107 人

イ 研究クラブ・同好会活動

区分	グループ名	活動の内容	活動場所	活動日
ク ラ ブ 研 究	写真	実技コースで学んだ技術 を更にレベルアップする 活動	周望学舎	隔週火曜日
	社交ダンス			木曜日午前中
同 好 会	周友会	ボランティア活動、研修	各 地 域	不定期
	生涯現役ひまわり会	ボランティア活動、研修	各 地 域	不定期
	周望卓球同好会	卓 球	周望学舎	概ね毎週金曜日
	周望詩吟同好会	詩 吟	周望学舎	第 1, 3 水曜日
	風船バレー同好会	ふうせんバレー	周望学舎	概ね毎週水曜日
	陶芸同好会	陶 芸	周望学舎	概ね毎週木曜日

2 穴生学舎・穴生ドーム事業

穴生学舎は、高齢者の生きがい対策の一環として増大かつ多様化する高齢者のニーズに応えるため、「周望学舎」に続き平成 6 年 9 月に新たな福祉と生涯学習の拠点として設置されました。

穴生学舎では、人口の高齢化に伴い急増する高齢者の「いきがい・健康・ふれあい」づくりと地域活動の推進役としての力量を高めるため、健康や福祉にかかわる幅広い学習や研修・事業を提供しました。

地域活動情報支援センターでは、学舎で学んだ成果が地域社会で活かせるよう、社会参加する機会や様々な情報を提供すると共に、OB会やクラブ・同好会等の自主活動を支援して社会における役割意識の高揚に努めました。

また、当学舎に併設されている穴生ドームは、健康志向の高い高齢者をはじめ一般市民にニュースポーツの出前講座や健康ウォーキング事業などさまざまな自主事業を実施し、市民の健康・体力づくり支援に努めました。

[穴生学舎]

(1) 応募状況の推移

平成 27 年度研修生の募集に向けて、ホームページでの情報提供や市民が関心を持つ体験講座、公開講座等を企画し、応募率の向上に努めました。また、新聞三大紙面での広告及び掲示用のポスターによる周知も行いました。

なお、平成 23 年度以降の応募者数、それに含まれる新人の数は、若干の減少傾向となっていますが、今後とも新たな研修生を確保するため市民や企業などに対し積極的な P R を行いながら、入学後は地域活動者となる人材の育成に努めています。

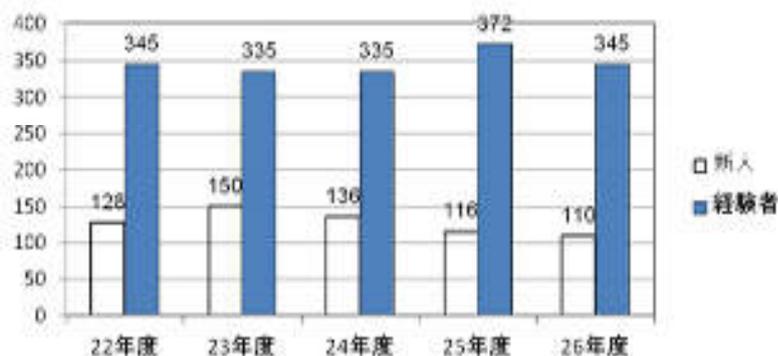
【応募状況の推移】

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
新人	男	62	72	64	52	46
	女	66	78	72	64	64
	計	128	150	136	116	110
経験者	男	181	163	173	169	160
	女	164	172	162	203	185
	計	345	335	335	372	345
合計		473	485	471	488	455

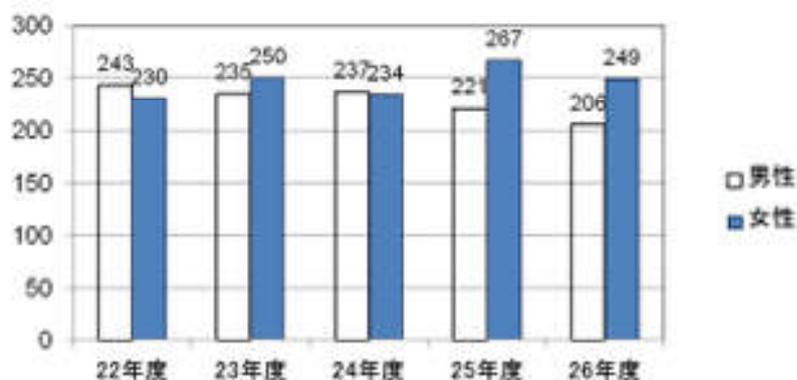
※平成 21 年度から市社協が第 2 期「指定管理者」となり管理運営を受託。

※平成 26 年度から市社協と里山を考える会の共同事業体が第 3 期「指定管理者」となり管理運営を受託。穴生学舎については、市社協が管理運営を担当。

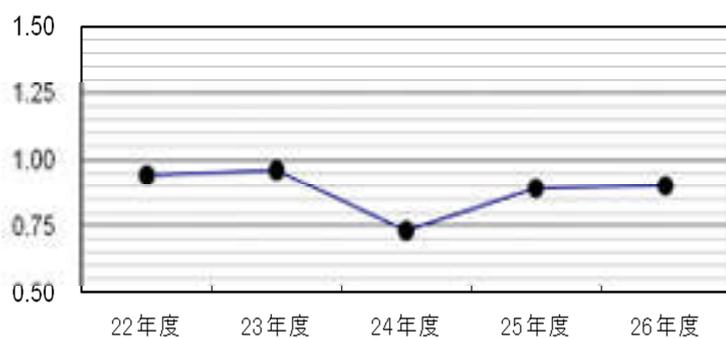
【新人と経験者の推移】



【男女の推移】



【応募倍率の推移】

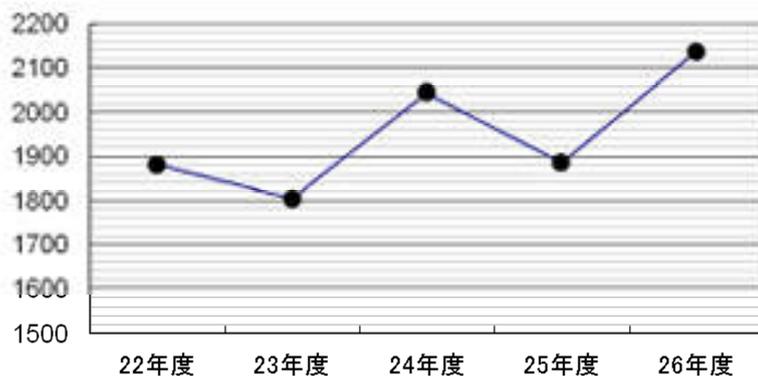


(2) 研修等の推移 (年間コース・研究クラブ・同好会)

分類		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
年間 コース	コース数	16	16	16	16	15
	研修生数(延べ)	16,458	16,125	16,270	14,947	15,344
研究 クラブ	グループ数	7	6	6	6	5
	利用者数(延べ)	2,230	1,194	1,738	2,025	1,548
同好会	グループ数	2	2	2	2	1
	利用者数(延べ)	1,138	951	1,213	1,223	822

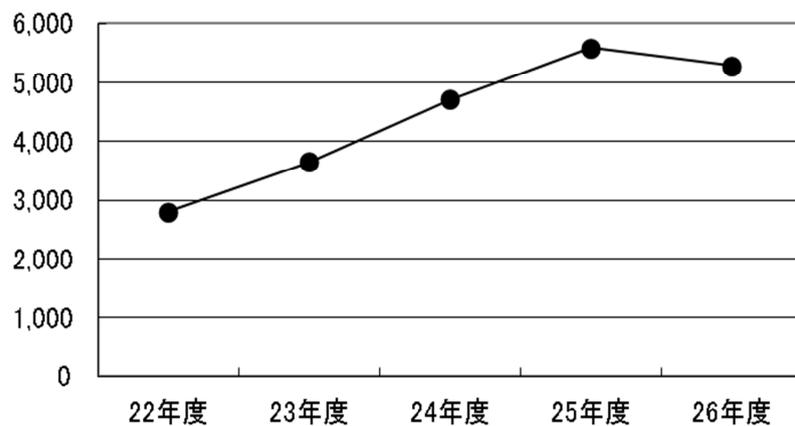
(3) 高齢者支援事業 (ふれあいいきいきサロン参加者) の推移

穴生学舎クッキングボランティアの会による、一人暮らし等の高齢者に対する健康によい食事の提供、健康チェック、ふれあい交流を実施しました。



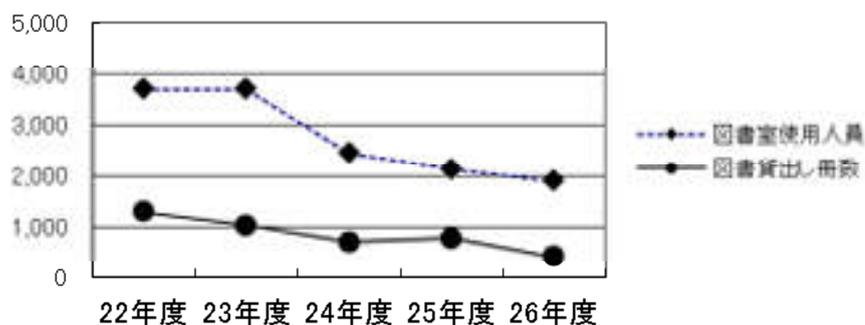
(4) 地域・世代間交流・子育て支援事業参加者の推移

ボランティアグループ・コース研修生による、近隣の幼稚園児や小学校児童との昔遊びの伝承、ニュースポーツ、レクリエーションを通じた交流事業を実施しました。

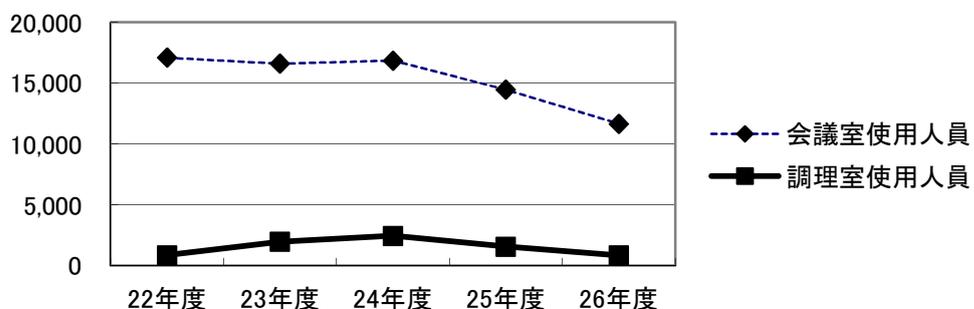


(5) 穴生学舎地域開放事業

【図書室使用人数の推移】



【会議室等使用の推移】



(6) 研修実施状況

	コース名	在籍数	利用者数(延べ)			研修回数			
			男	女	計	宿泊	日帰り	計	
年間コース	地域ふれあい	23	253	570	823	2	36	38	
	健康づくりサポーター	16	267	354	621	2	36	38	
	心と身体の健康	36	599	601	1,200	2	36	38	
	暮らしと環境	26	256	681	937	2	36	38	
	歴史に学ぶ	36	597	595	1,192	2	36	38	
	アジアを学ぶ	34	796	429	1,225	2	36	38	
	文化伝承	32	598	597	1,195	2	36	38	
	国際情報	33	618	598	1,216	2	36	38	
	健康管理	34	412	825	1,237	2	36	38	
	生活情報	35	372	828	1,200	2	36	38	
	健康スポーツ	35	647	557	1,204	2	36	38	
	実用書道	19	241	411	652	2	36	38	
	絵画入門	21	338	468	806	2	36	38	
	英会話	29	491	579	1,070	2	36	38	
	写真入門	23	515	251	766	2	36	38	
		小計	432	7,000	8,344	15,344	30	540	570
短期講座	パソコン系講座	113	314	390	704	0	50	50	
	パソコン系講座以外	15	0	41	41	0	6	6	
	男性料理教室	60	275	0	275	0	10	10	
	自主講座	357	146	211	357	0	4	4	
	一日体験講座	50	17	33	50	0	2	2	
		小計	595	752	675	1,427	0	72	72
研究クラブ	書道クラブ	10	125	117	242	0	27	27	
	写真	一四撮会	18	181	77	258	0	19	19
		瞳(13)写遊会	11	90	52	142	0	16	16
	英会話	E25会	13	403	118	521	0	44	44
		英遊	13	238	147	385	0	44	44
	小計	65	1,037	511	1,548	0	150	150	
同好会	国際情報	28	368	454	822	0	34	34	
		小計	28	368	454	822	0	34	34
	各ボランティア団体	-	-	-	5,795	0	662	662	
	その他の開放(会議室等)	-	-	-	11,648	0	506	506	
	合計	1,120	9,157	9,984	36,584	30	1,964	1,994	

(7) 年間行事等

ア 入学式（合同）記念講演会

月 日	人員・会場	内 容
H26. 4. 4	353 人 八幡市民会館	テーマ：「私と社会を発見する学びの旅へ」 講 師：九州大学大学院人間環境学研究院 准教授 岡 幸江

イ 第 21 回ふれあいスポーツ大会

月 日	人員・会場	内 容
H26. 6. 14	615 人 穴生ドーム	障害物競走、大玉転がし、玉入れ等の紅白チーム対 抗戦 他

ウ 穴生学舎・北九州穴生ドーム設立 20 周年記念式典並びに記念講演会

月 日	人員・会場	内 容
H26. 10. 18	150 人 穴生学舎	式典 記念イベント「プレ・オータム」（研修生によるオ ータムファッションショーのプレイベント） 記念講演会 テーマ：スロージョギング®のススメ 講 師：健康運動指導士 福岡マラソンゲストランナー 佐藤 紀子（旧姓：平尾）

エ 第 20 回穴生学舎大学祭&ドームフェスタ

月 日	人員・会場	内 容
H26. 10. 18 ～ H26. 10. 19	7,500 人 穴生学舎 穴生ドーム	19 年度から大学祭とドームフェスタを同時開催。 学舎研修生による学習成果発表と地域・世代間交流 を目的に、幼児から高齢者までが楽しめる各種ふれ あい催事コーナーの実施。

オ 修学旅行

月 日	人員	内 容
H26. 11. 20 ～ H26. 11. 21	研修生 303 人	3 便に分かれ 1 泊 2 日で実施 大分県別府市 （青の洞門、大分県中津市内見学、大分県杵築市 観光、湯布院見学、安心院鰻絵群見学 等）

カ タイムカプセルの開封

月 日	会場	内 容
H26. 12. 9	穴生ドーム 西側スロープ	10年前、穴生学舎設立10周年を記念して、当時の研修生の思いを込めて書いたメッセージをタイムカプセルに入れて埋設。設立20周年を迎えるにあたり、タイムカプセルを掘り起こし・開封したもの。

キ 公開講座

月 日	人員・会場	内 容
H27. 2. 7	138人 穴生学舎	テーマ：幕末激動の北九州 近代日本の基を創った維新の英傑 吉田松陰、高杉晋作の生涯 講 師：史学博士 廣崎 篤夫

ク ロビーコンサート

月 日	人員	内 容
H26. 4. 24	63人	西小倉ギタークラブ ドルチェのギター演奏
H26. 8. 27	72人	ハンドベルボランティア瑠璃色の会による演奏
H27. 1. 28	75人	クラシックギターの演奏

ケ 修了記念作品展

月 日	人員・会場	内 容
H27. 2. 9 ～ H27. 2. 20	948人 黒崎市民ギャラリー 第1展示室 穴生学舎1階ホール	実用書道・絵画入門・写真入門コースの学習成果の発表 出点数 計129点

コ 高齢者支援事業

実施回数	人員・会場	内 容
23回	延べ2,136人 穴生学舎	ボランティアによる地域の一人暮らし高齢者とのふれあい交流活動「ふれあいいいききサロン」の実施 ・サロン実施回数 : 23回 (月2回実施) ・サロン参加者 : 延べ1,418人 ・運営、協力ボランティア : 延べ 718人

サ 地域、世代間交流・子育て支援事業

会 場	人 員	内 容
穴生学舎及び 穴生ドーム	5,283 人	<ul style="list-style-type: none"> ・文化伝承ボランティアによる昔遊びの指導 10 人、 こじか幼稚園児 68 人、萩原小学校児童 63 人 また、環境ミュージアムにおいて市内小学生とのレク リエーションによる世代間交流 児童 170 人 ・クッキングボランティア、サロン参加者との穴生児童 館児童とのふれあい交流 134 人 ・文化伝承コース研修生による昔の遊びやレクリエーシ ョンを通じての世代間交流 33 人 緑ヶ丘第二幼稚園児 33 人 ・ドームフェスタ及び大学祭における文化伝承ボランテ ィアや研修生による昔遊び、トランポリン、キッズコー ナー（お手玉、あやとり、紙飛行機等遊び）の実施 ドームフェスタ 1,389 人 大学祭(研修コース催事) 3,383 人

シ 校外授業「シニアサマーカレッジ・シニアカレッジ」

実施回数	会 場	入学者数	参加人員(延べ)	内 容
10 回	九州共立大学	58 人	403 人	<ul style="list-style-type: none"> ・松門掃苔録～墓石でたどる吉田松 陰と門弟たち～ ・北九州の発展に伴う知られざる名 建築～門司港の旧料亭「三宜楼」、 八幡図書館・八幡市民会館等～ 等
10 回	九州国際大学	44 人	374 人	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな市民社会の可能性～ 民主主義の新しいカタチ ・スポーツが我々に与えるもの～世 界のサッカー事情～ 等

ス 一日体験講座

月 日	人員・会場	内 容
H26. 12. 12	25 人 穴生学舎	<ul style="list-style-type: none"> ①テーマ：遺産相続について 講 師：桑原善郎法律事務所 弁護士 桑原 善郎 ②テーマ：健康貯金のお話 講 師：皇法健康所 所長 平井 将弘
H27. 1. 14	25 人 穴生学舎	<ul style="list-style-type: none"> ①テーマ：60 歳から始めたい健康と体力づくり 講 師：九州共立大学 助教 篠原 純司 ②テーマ：松門掃苔録～墓石でたどる吉田松陰と門弟たち ～ 講 師：自由ヶ丘高等学校 教諭 三浦 明彦

セ 広報紙の発行

名 称	発行部数(1回)	発行回数
穴生学舎新聞	2,000部	・A4版8ページ1回発行
かわら版	各700部	・A4版4ページ4回発行

ソ 資料の発行

資 料 名	発行部数	発 行 日
学舎案内	650部	平成26年4月4日
研修生募集要項	7,000部	平成27年2月1日
薫風(穴生学舎修了記念文集)	460部	平成27年2月20日

タ 地域開放事業

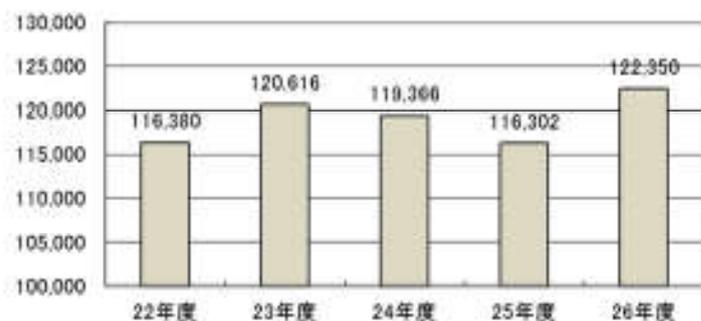
実施回数	使用回数	使用人員	備 考
図書の貸し出し	開館日数 183日 貸出冊数 418冊	貸出人数 293人 図書館利用者 1,890人	・研修生及び一般市民
大会議室	58回	2,433人	・研修生講義、各種委員会 ・八幡西区老人クラブ連合会 ・グラウンドゴルフ協会 ・車イステニス協会 ・八幡西区役所保健福祉課 ・VO・クラブ・同好会総会等
AB会議室	92回	2,888人	・ふれあいいきいきサロン ・VO・同好会等連絡会議等
調理室	29回	827人	・クッキングボランティア ・周望学舎 ・研修コース ・紙すきの会等
和 室	8回	57人	・研修生、OB会等
交流サロン他	135回	3,553人	・同好会・修了作品展
計	505回	11,648人	

チ 各種会議

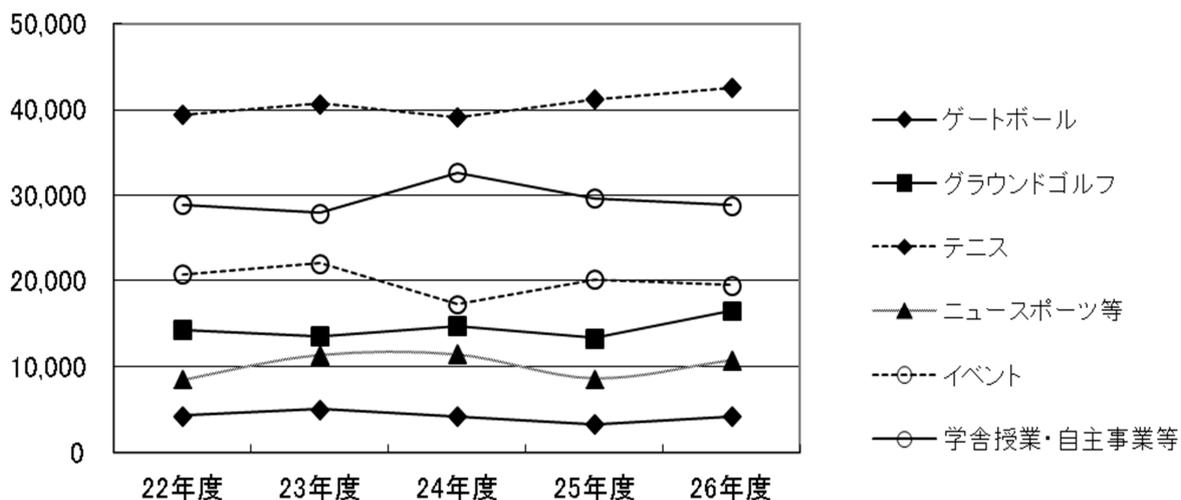
会議名	回数	人員（延べ）	備考
コース委員長会議	3回	42人	—
スポーツ大会実行委員会	3回	76人	—
大学祭実行委員会	6回	160人	—
修学旅行実行委員会	5回	105人	—
新聞編集委員会	25回	202人	—
ボランティア・クラブ・ 同好会連絡会議	5回	120人	年間使用に関する事項及び各種行事の連絡会議
ボランティアグループ 連絡協議会	5回	99人	ボランティアグループ相互の意見交換

[穴生ドーム]

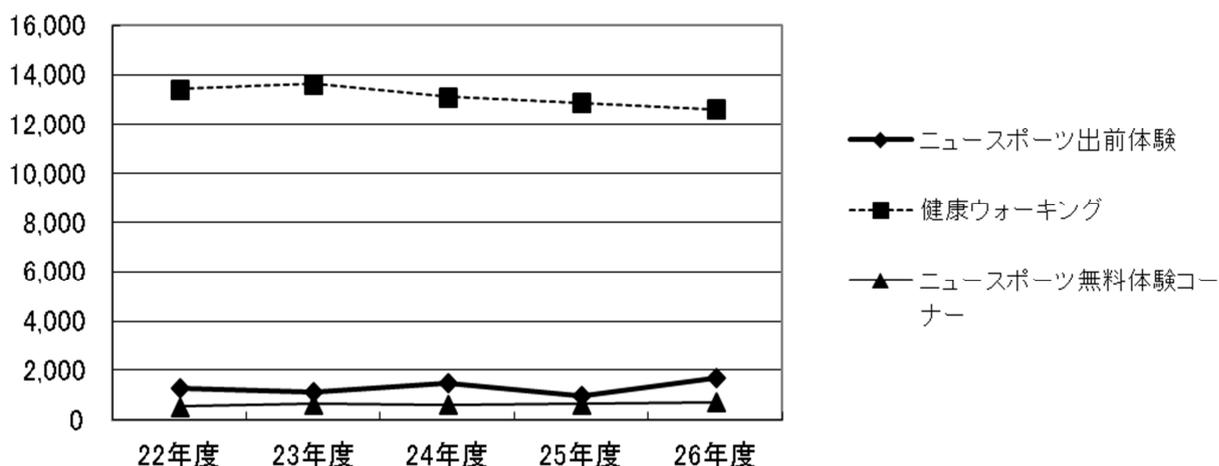
(1) 穴生ドーム年間利用者の推移



(2) 穴生ドーム目的別利用者の推移



(3) 穴生ドーム自主事業参加者の推移



(4) 穴生ドーム利用状況

区分		年間利用人員 (人)	1日平均 (人)	比率 (%)
① 早朝 利用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	3,014	9	24.3
	テニス	7,177	20	57.9
	ニュースポーツ	2,194	6	17.7
② 個人 利用	ゲートボール	38	0	0.2
	グラウンドゴルフ	1,030	3	5.5
	テニス	17,711	50	94.2
	ニュースポーツ	21	0	0.1
③ 専用 利用	ゲートボール	4,156	12	6.7
	グラウンドゴルフ	12,409	35	19.9
	テニス	17,732	50	28.4
	ニュースポーツ	8,508	24	13.7
	その他	19,524	55	31.3
④	周望・穴生学舎体育授業	3,452	10	2.8
⑤	昼休利用	42	0	0.0
⑥	自主事業	11,473	33	9.4
⑦	屋外コート	1,256	4	1.0
⑧	ウォーキング	12,613	36	10.3
合 計		122,350	347	100.0
開館日数		353		

***種目別利用者人員**

項目	年間利用人員（人）	一日平均（人）	比率（％）
ゲートボール	4,194	11.9	3.4
グラウンドゴルフ	16,453	46.6	13.4
テニス	42,620	120.7	34.8
ニュースポーツ	10,723	30.4	8.8
イベント	19,524	55.3	16.0
屋外・体育授業・その他	28,836	81.7	23.6

(5) 穴生ドーム高齢者の健康づくり事業

ア はつらつ！ニュースポーツ塾：参加者 12人

回数	月日	人数	内容
6	1/16～2/27	64人	グラウンドゴルフ、ユニカール、囲碁ボール等のニュースポーツ及びエアロビクス等

イ テニス教室：参加者 36名

回数	月日	人数	内容
10	10/8～12/10	304人	テニスの基本からダブルスゲームの実施

ウ 穴生ドーム主催イベント及び大会

回数	人数	内容
4	7,495人	穴生ドーム杯グラウンドゴルフ交歓大会、ビーチボール交歓大会、穴生ドームフェスタ、テニス交換大会

エ ニュースポーツの振興に伴う高齢者のスポーツ大会

回数	人数	内容
2	366人	第26・27回クラブ間交流スポーツ大会

オ ニュースポーツ出前体験

回数	人数	内容
75	1,676人	地域に各種ニュースポーツ用具を持参し、指導を実施

カ 健康ウォーキング

回数	人数	内容
343	12,613人	ドーム2階通路を開放し、ウォーキングを実施

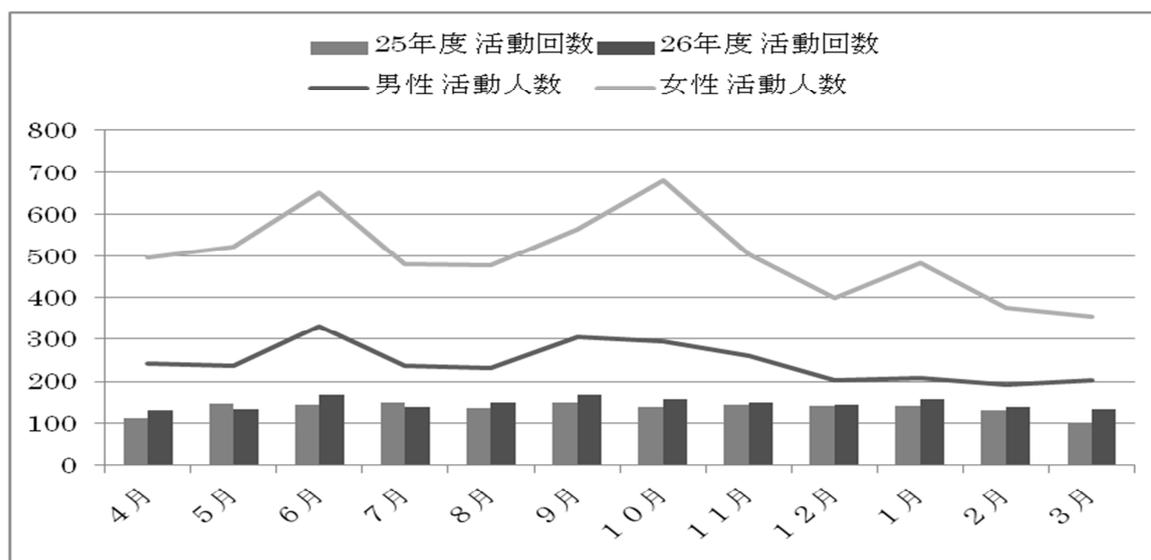
キ ニュースポーツ開放デー

回数	人数	内容
12	701人	ドームを無料開放し、ニュースポーツを体験して頂く

3 地域活動情報支援センター

(1) 年長者研修大学校穴生学舎ボランティアグループ活動報告

	活動者数(延べ)	男	女	活動回数	
				平成 25 年度	平成 26 年度
4月	739	242	497	111	132
5月	759	237	522	147	136
6月	981	330	651	144	169
7月	718	237	481	150	139
8月	710	232	478	138	151
9月	867	304	563	151	168
10月	974	294	680	139	157
11月	764	260	504	144	150
12月	603	203	400	142	145
1月	691	208	483	143	159
2月	569	193	376	133	139
3月	557	203	354	101	136
年間合計	8,932	2,943	5,989	1,643	1,781



(2) 地域活動情報支援センター コーディネート状況

コーディネート内容	件数	備考
ボランティア活動体験受け入れ先に関すること（周望学舎・穴生学舎）	4	特養老人ホーム好日苑、ケアハウスあいおいで活動体験を行う。
ボランティアについて（穴生学舎講義）	11	研修コースでの穴生学舎ボランティアグループに関する説明など。
関係機関からの相談・依頼 関係機関への相談・依頼	10	市ボランティアセンターや各区ボランティアセンターからの問い合わせ・活動依頼。
市内学校・市民センター、外部施設・団体からのボランティア相談・依頼	17	上津役小学校、西部障害者福祉会館、北九州マラソン事務局、環境ミュージアム、黒崎よさこい祭り実行委員会、ウォーキング協会。
ボランティアグループへの活動依頼	30	市内高齢者施設、正和なみき病院等からの相談・依頼。
ボランティアグループからの活動相談	37	活動先の依頼。助成金についての相談。風船バレーボール会員募集事務。今後の活動についての相談等。
ボランティアグループ以外の相談	8	穴生学舎写真クラブ・絵画クラブの作品展の日程調整。研究クラブ・同好会会議の日程調整。
研修生・修了生からの相談	10	花ボランティア、パソコンボランティア、クッキングボランティア、コーラスボランティア、ハンドベルボランティア、芸能グループオーロラへの入会相談
一般の方からの相談	4	ボランティアグループについての相談、見学、ボランティアについての相談等。
講座・研修・地域開放事業等の開催	33	男性料理講座、ロビーコンサート、介護支援ボランティア事業研修会、シニアと孫の夏休み。図書室での読み聞かせの会。
ボランティアフェスタ in 八幡西（実行委員会・企画委員会）	10	参加ボランティアの依頼、各会議への参加、開催スタッフ、出店依頼等。
原稿依頼等の広報活動	4	八幡西ふるさと新聞の原稿依頼。
ふれあいいいききサロンに関すること	63	ふれあいいいききサロンの資料・名簿作成、昼食会への参加。保健師等の依頼。産業医大での代表者講義に同行。穴生児童館との交流における日程等の調整と打ち合わせ。
ボランティア活動や打ち合わせに同行	5	ボランティア活動体験・ボランティア活動に同行、現状把握。

穴生学舎ボランティアグループ 連絡協議会	9	ボランティアグループ連絡協議会開催に関する事務及び日程調整、登録申請に関する こと。連絡協議会交流事業に関する こと。
年長者研修大学校研修生 募集について	30	募集パンフレット・ポスターのデザイン依 頼・見積もり依頼、新聞広告の業者への見 積もり依頼。市社協・各区社協・市民セン ター等への募集案内・入学案内の配布
夢追塾同窓会活動について	148	会議室の予約・調整等
合 計 件 数	433	

◇常設委員会

1 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 10. 22	7人 ウエルとばた	1 平成 26 年度表彰記念式典について 2 委員長の選任について 3 被表彰候補者の審査・答申について

2 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 12. 9	8人 ウエルとばた	1 委員長の選任について 2 平成 27 年度事業計画（案）

3 福祉人材バンク運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 6. 26	9人 ウエルとばた	1 正副委員長の選任 2 平成 25 年度事業報告 3 平成 26 年度事業計画 4 意見交換

4 総合企画委員会

回	実施日	人員・会場	内 容
第 1 回	H26. 7. 30	17人 ウエルとばた	1 平成 26 年度市社協総合企画委員会の取り組みについて 2 北九州市地域福祉活動第四次計画（平成 25 年度）の点検・評価について
第 2 回	H27. 2. 13	15人 ウエルとばた	1 平成 27 年度北九州市社会福祉協議会の事業展開について 2 平成 27 年度総合企画委員会の進め方について

5 ボランティア・市民活動センター運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 5. 30	17人 ウエルとばた	1 正・副委員長の選任について 2 平成26年度の運営委員会の取組みについて 3 平成25年度ボランティア・市民活動センター事業報告について 4 平成26年度ボランティア・市民活動センター事業計画について 5 地域福祉活動支援事業（地域福祉研修活動助成）について 6 研修専門委員会について
H26. 8. 8	14人 ウエルとばた	1 「研修専門委員会 中間報告」について 2 平成27年度事業方針の策定における運営委員意見聴取について 3 地域福祉活動助成事業（地域福祉研修活動助成）について
H27. 3. 20	18人 ウエルとばた	1 平成27年度ボランティア・市民活動センター事業計画(案)について

6 権利擁護・市民後見センター 監視委員会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 4. 28	19人 戸畑	1 平成26年度事業計画について 2 法人後見事業受任状況について（4人） 3 地域福祉権利擁護事業新規契約者の進捗状況について（21人）
H26. 7. 28	21人 戸畑	1 平成25年度事業報告について 2 平成25年度監査について（事業監査報告・会計監査報告） 3 法人後見事業受任状況について（4人） 4 地域福祉権利擁護事業新規契約者の進捗状況について（16人）
H26. 10. 27	19人 戸畑	1 法人後見事業受任案件の進捗状況について（5人） 2 地域福祉権利擁護事業新規契約者の進捗状況について（14人）
H27. 1. 26	19人 戸畑	1 相続人調査等のための戸籍の取得について 2 法人後見事業受任状況について（6人） 3 地域福祉権利擁護事業新規契約者の進捗状況について（21人）

7 権利擁護・市民後見センター 運用委員会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 4. 17	11人 戸畑	1 法人後見受任審査人数 2人 2 法人後見事業受任案件の進捗状況について 3 地域福祉権利擁護事業利用者の意思能力喪失時の対応について
H26. 7. 3	9人 戸畑	1 法人後見受任審査人数 1人 2 法人後見事業の困難案件について
H26. 8. 28	9人 戸畑	1 法人後見受任審査人数 1人 2 法人後見事業受任案件の進捗状況について
H26. 9. 4	9人 戸畑	1 法人後見受任審査人数 1人

H26. 10. 2	11人 戸畑	1 法人後見受任審査人数 2人
H26. 10. 16	9人 戸畑	1 法人後見受任審査人数 2人
H26. 11. 20	8人 戸畑	1 法人後見受任審査人数 1人
H26. 12. 4	9人 戸畑	1 法人後見事業受任案件の進捗状況について
H27. 2. 5	9人 戸畑	1 法人後見受任審査人数 1人 2 地域福祉権利擁護事業利用者の範囲について
計9回		法人後見受任審査人数 11人 内訳 ・ 認知症高齢者 7人（後見3人、保佐3人、補助1人） ・ 知的障害者 2人（後見2人、保佐0人、補助0人） ・ 精神障害者 2人（後見1人、保佐1人、補助0人）

8 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会

実施日	人員・会場	内 容
H26. 7. 16	17人 穴生学舎	1 委嘱状の交付及び委員の紹介について 2 年長者研修大学校穴生学舎の視察 3 北九州シニアネットワークアカデミーの運営について 4 その他